

## やまなしの「救急医療」に関するアンケート調査 結果概要

### 1 アンケート調査の概要

やまなしの「救急医療」に対する県民の意識を把握し、今後の施策の参考とすることを目的として、令和3年6月に県政モニターを対象にアンケート調査を実施。

調査実施者	山梨県
調査対象	山梨県 県政モニター
対象者数	399人（郵送：199人、Web：200人）
調査方法	調査票郵送による配布・回収 及び Web 上での回答

### 2 アンケートの回収状況

発送数	回収数	回収率
399	362	90.7%

### 3 調査項目

調査区分	設問（抜粋）
1. 回答者自身について	<ul style="list-style-type: none"> <li>性別、年代、住んでいる市町村、職業</li> <li>かかりつけ医の有無</li> </ul>
2. やまなしの「救急医療」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験の有無</li> <li>受診する救急医療機関の決定方法</li> <li>救急医療機関の受診理由</li> <li>救急医療機関受診時の感想</li> <li>『救急医療情報センター』の利用経験</li> <li>『やまなし医療ネット』の利用経験</li> <li>救急車利用経験の有無</li> <li>救急車利用時の判断方法</li> <li>『救急受診ガイド（Q助）』の利用経験 等</li> </ul>

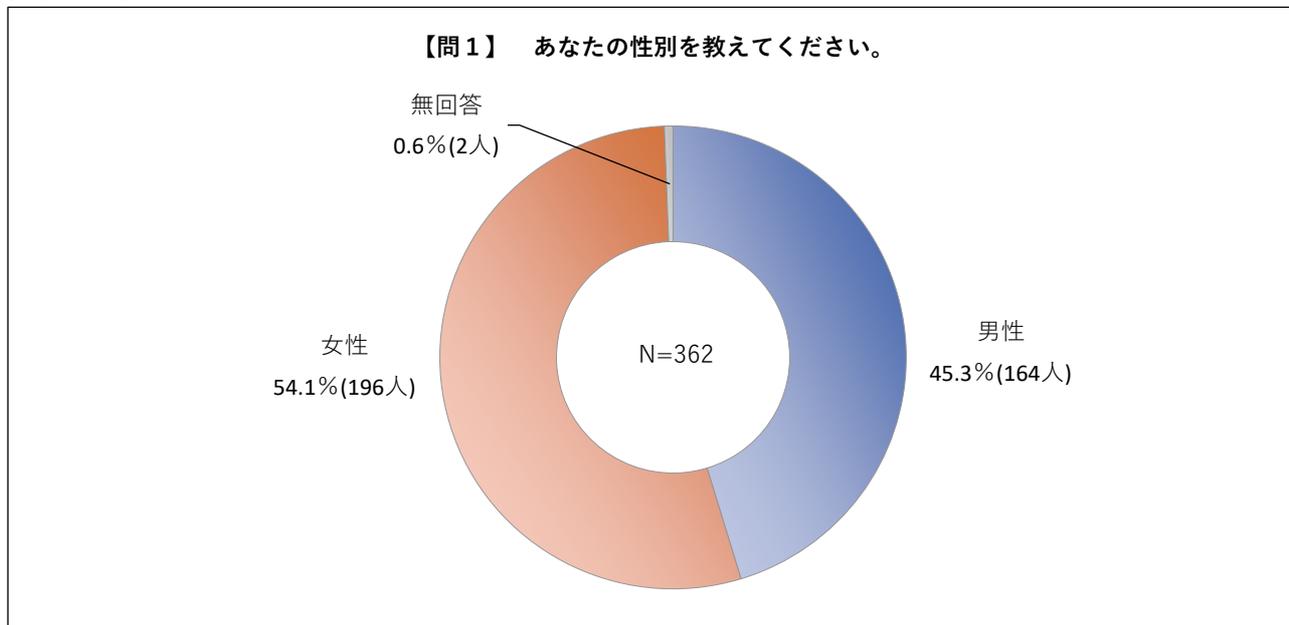
#### 4 アンケート結果

### 1. 回答者自身について

#### (1) 性別

○ 性別の割合は、「男性」が45.3%（164人）、「女性」が54.1%（196人）となっている。

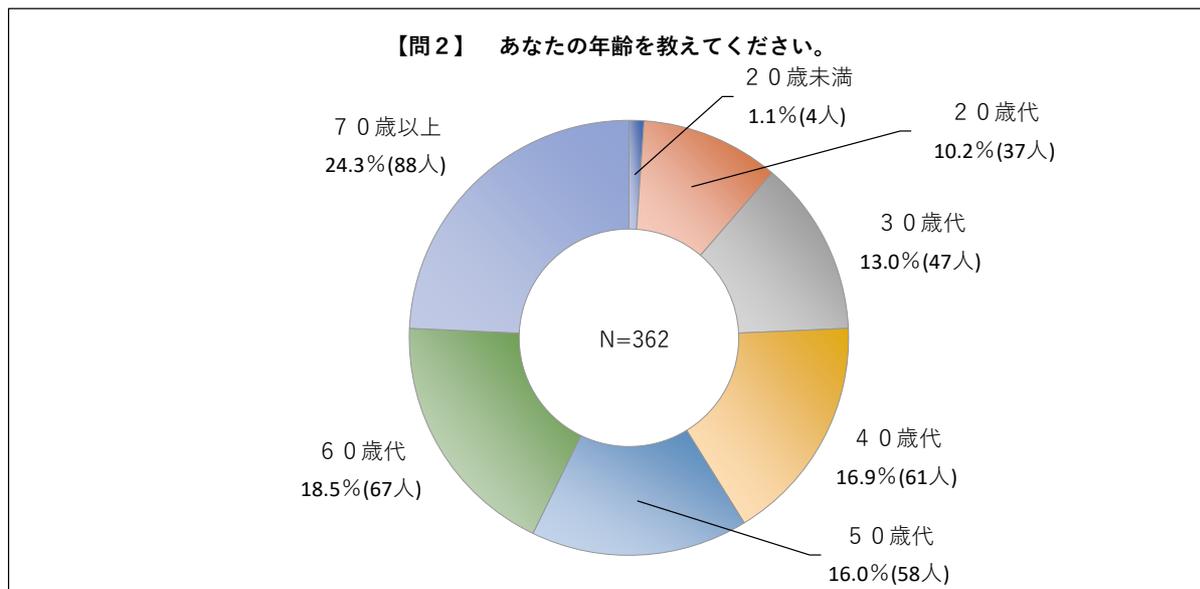
図表1 性別区分



#### (2) 年代

○ 年齢は、「70歳以上」が最多で24.3%（88人）、次いで、「60歳代」が18.5%（67人）、「40歳代」が16.9%（61人）となっている。

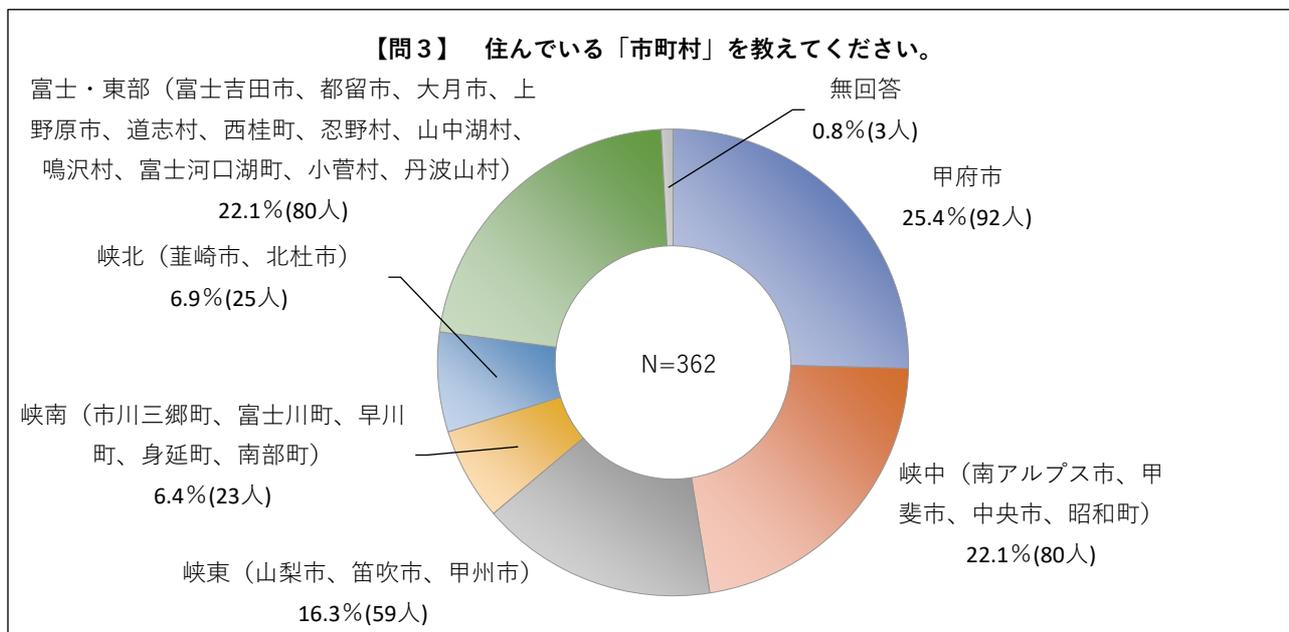
図表1 年齢区分



### (3) 住んでいる「市町村」

- 住んでいる「市町村」は、「甲府市」が最多で 25.4% (92 人)、次いで、「峡中 (南アルプス市、甲斐市、中央市、昭和町)」と「富士・東部 (富士吉田市、都留市、大月市、上野原市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村)」が 22.1% (80 人)、「峡東 (山梨市、笛吹市、甲州市)」が 16.3% (59 人) となっている。

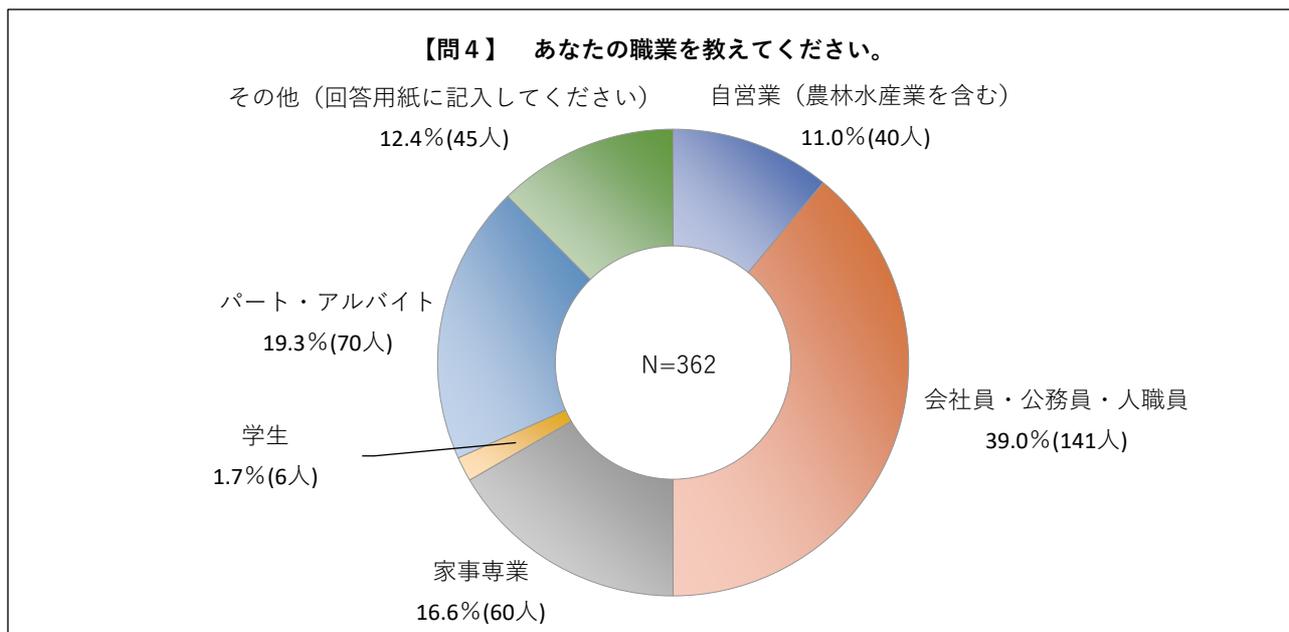
図表 2 住んでいる「市町村」区分



### (4) 職業

- 職業は、「会社員・公務員・人職員」が最多で 39.0% (141 人)、次いで、「パート・アルバイト」が 19.3% (70 人)、「家事専業」が 16.6% (60 人) となっている。

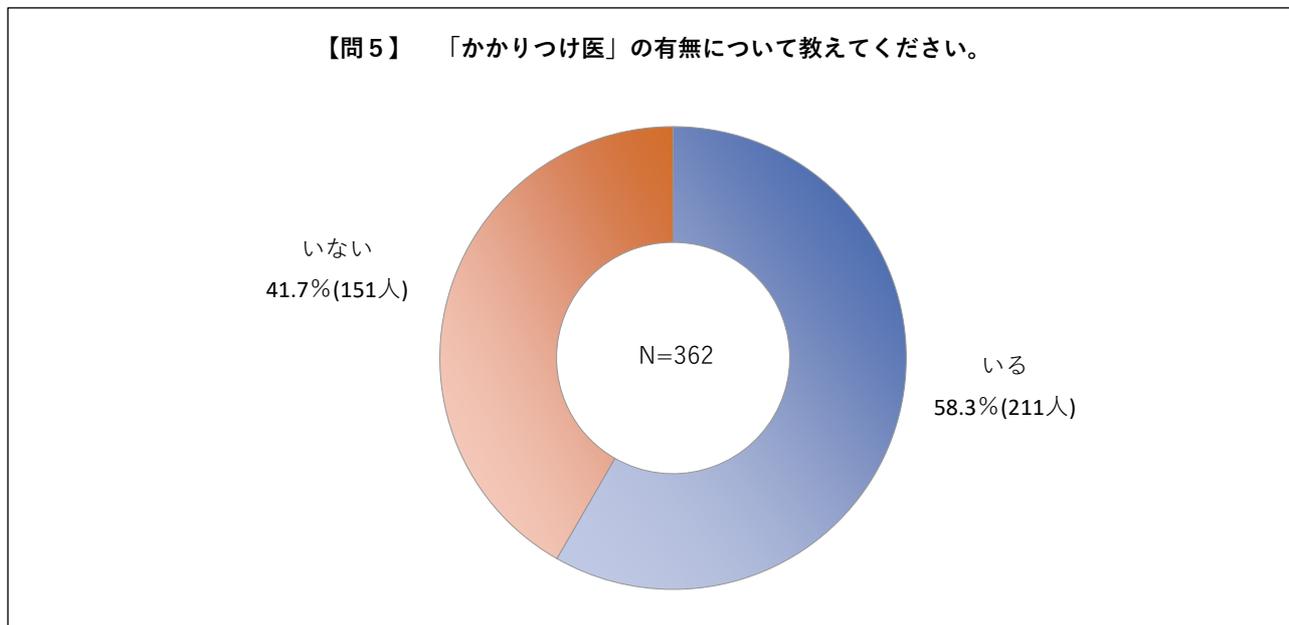
図表 3 職業区分



## (5) 『かかりつけ医』の有無

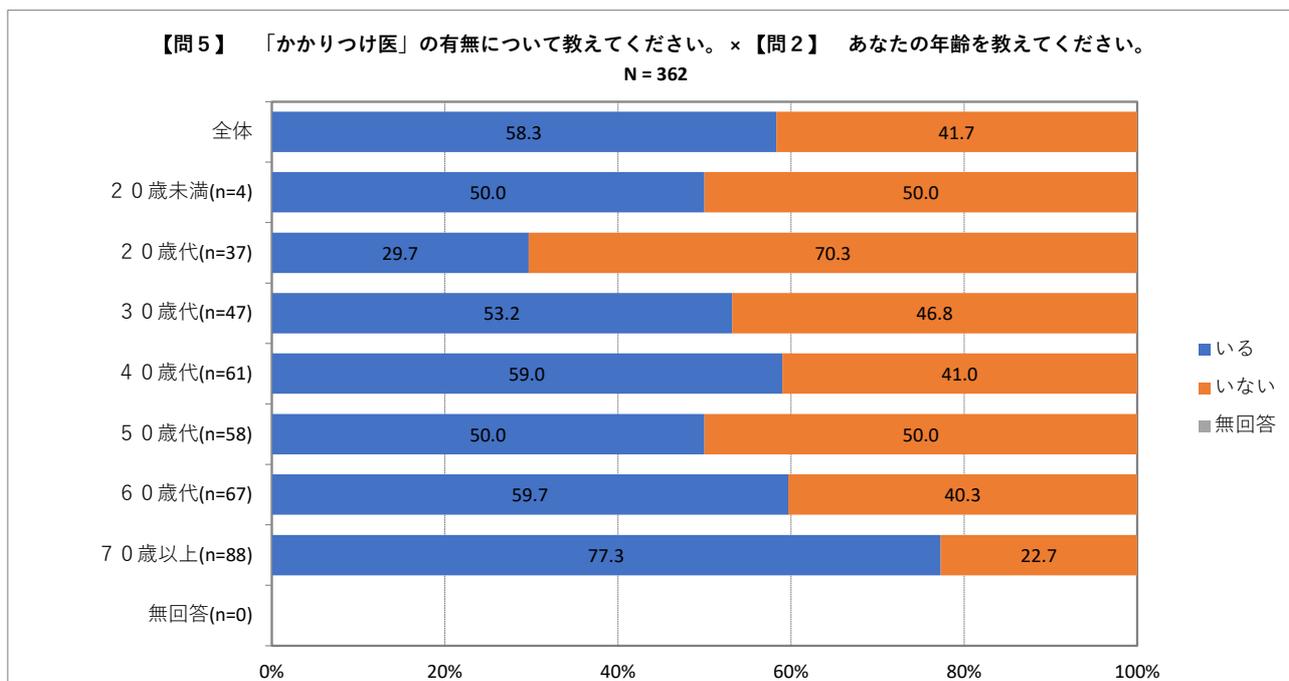
- 「かかりつけ医」の有無については、「いる」が58.3% (211人)、「いない」が41.7% (151人)となっている。

図表4 「かかりつけ医」の有無



- 「かかりつけ医」の有無について年齢別にみると、「70歳以上」が最多で77.3%、次いで「60歳代」が59.7%と、年齢が高くなるにつれてかかりつけ医の有無の割合が高くなっている傾向がみられる。

図表5 「かかりつけ医」の有無（年齢区分別）

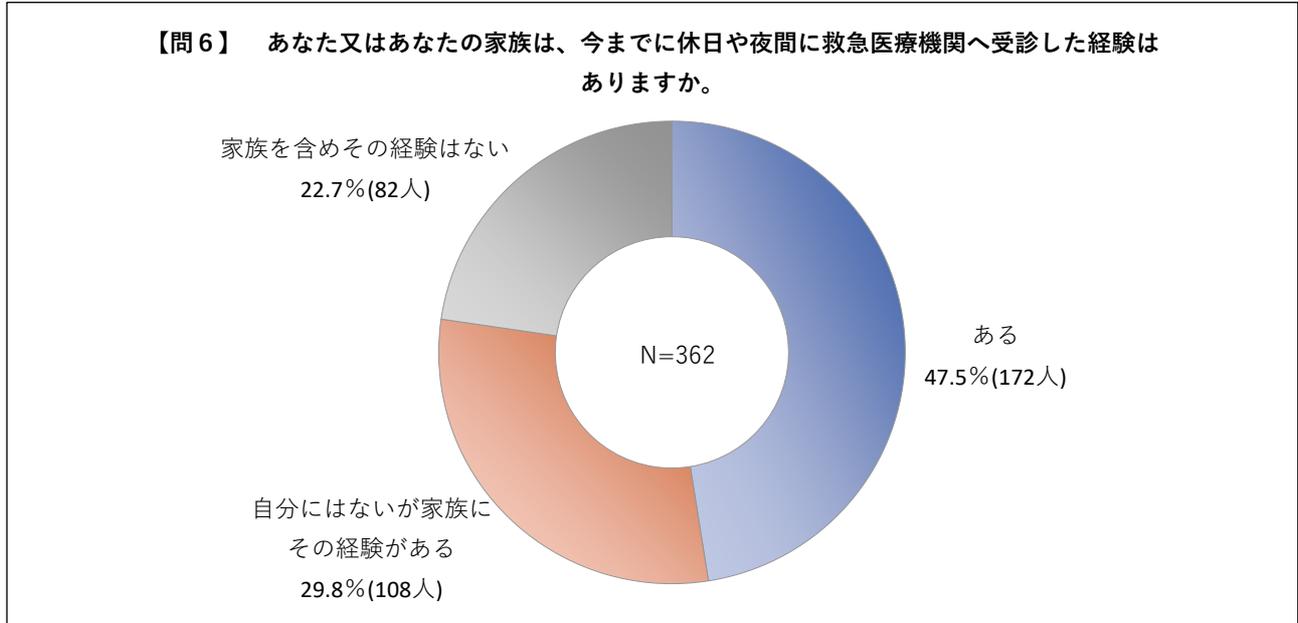


## 2. やまなしの「救急医療」について

### (1) 今までに休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験はあるか

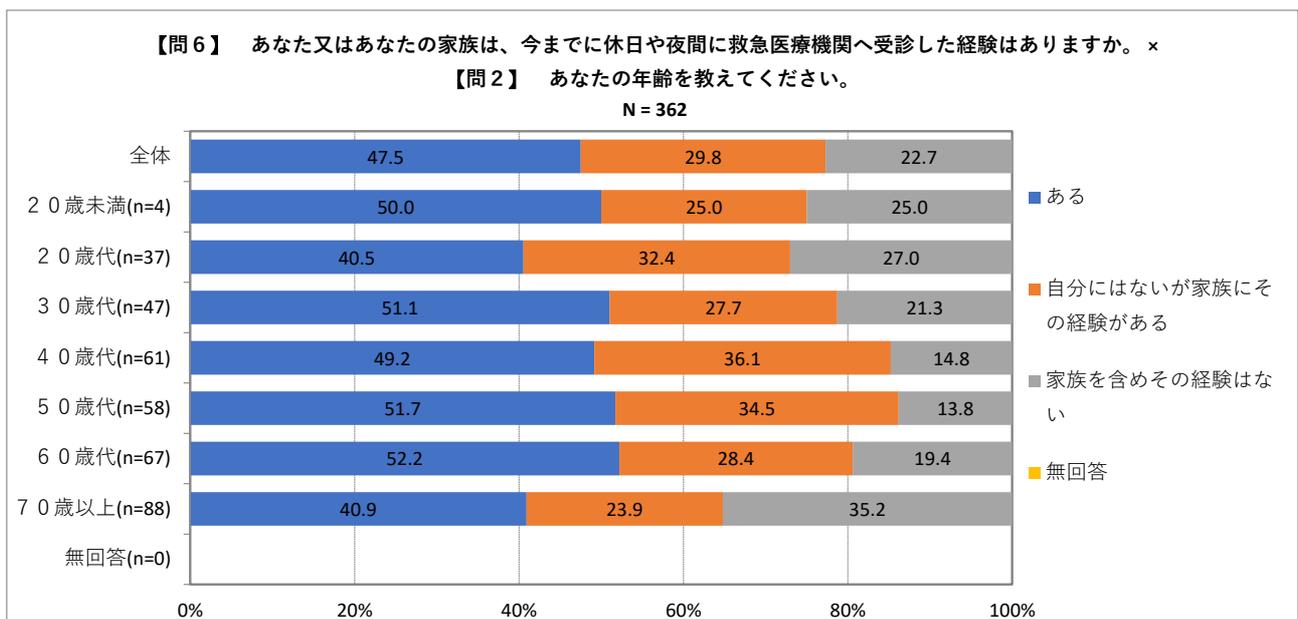
- 回答者またはその家族が休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験については、「ある」が最多で47.5% (172人)、次いで、「自分にはないが家族にその経験がある」が29.8% (108人)、「家族を含めその経験はない」が22.7% (82人)となっている。

図表6 休日や夜間の救急医療機関受診有無



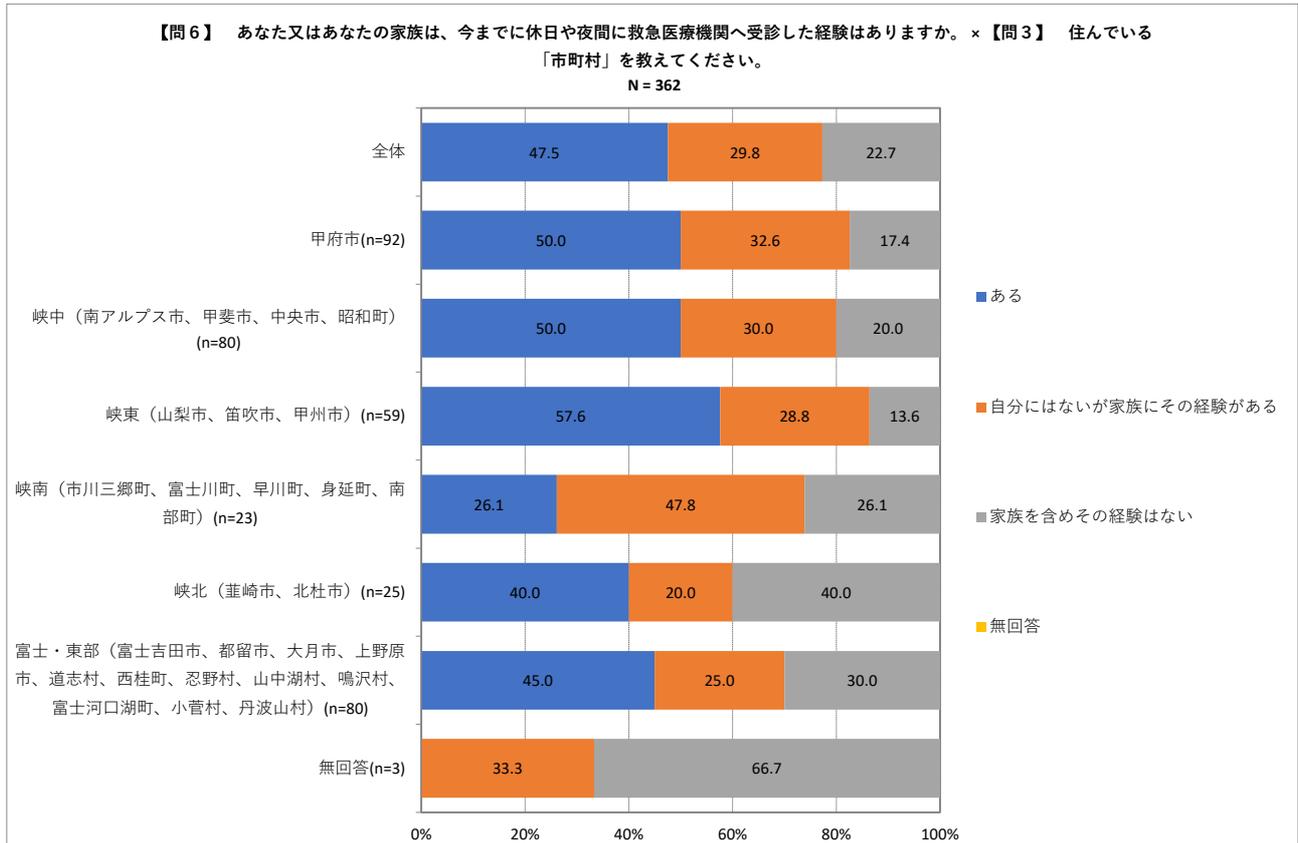
- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験について年齢別にみると、「ある」と回答した割合は、「60歳代」が最多で52.2%、次いで、「50歳代」が51.7%、逆に最も少ないものは「20歳代」で40.5%となっており、年齢による受診経験の有無の割合は、大きく差がないことがわかる。

図表7 休日や夜間の救急医療機関受診有無（年齢区分別）



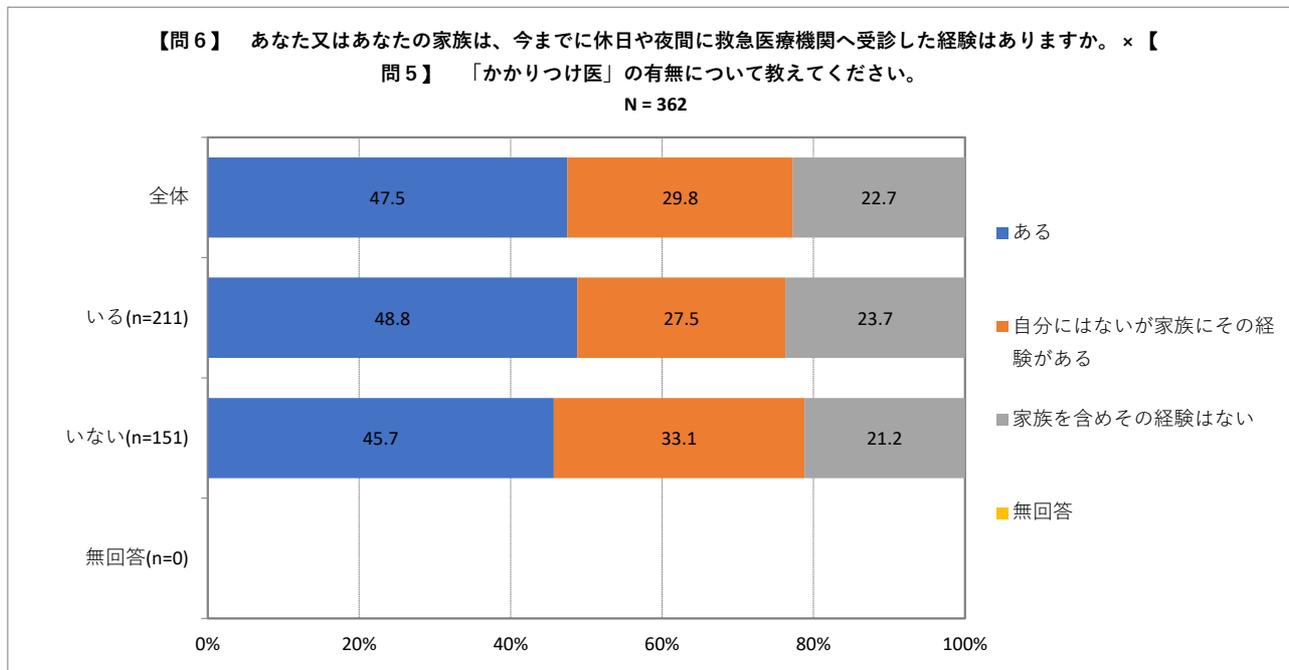
- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験について回答者の住んでいる市町村別にみると、「ある」と回答した割合は、「峡東」が最多で52.2%、次いで、「甲府市」と「峡中」が50.0%、逆に最も少ないものは「峡南」で26.1%となっており、市町村ごとに差がみられる。

**図表 8 休日や夜間の救急医療機関受診有無（住んでいる「市町村」別）**



- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した経験についてかかりつけ医の有無別にみると、「ある」と回答した割合は、かかりつけ医がいる場合は48.8%、かかりつけ医がいない場合は45.7%となっており、かかりつけ医の有無で差がないことがわかる。

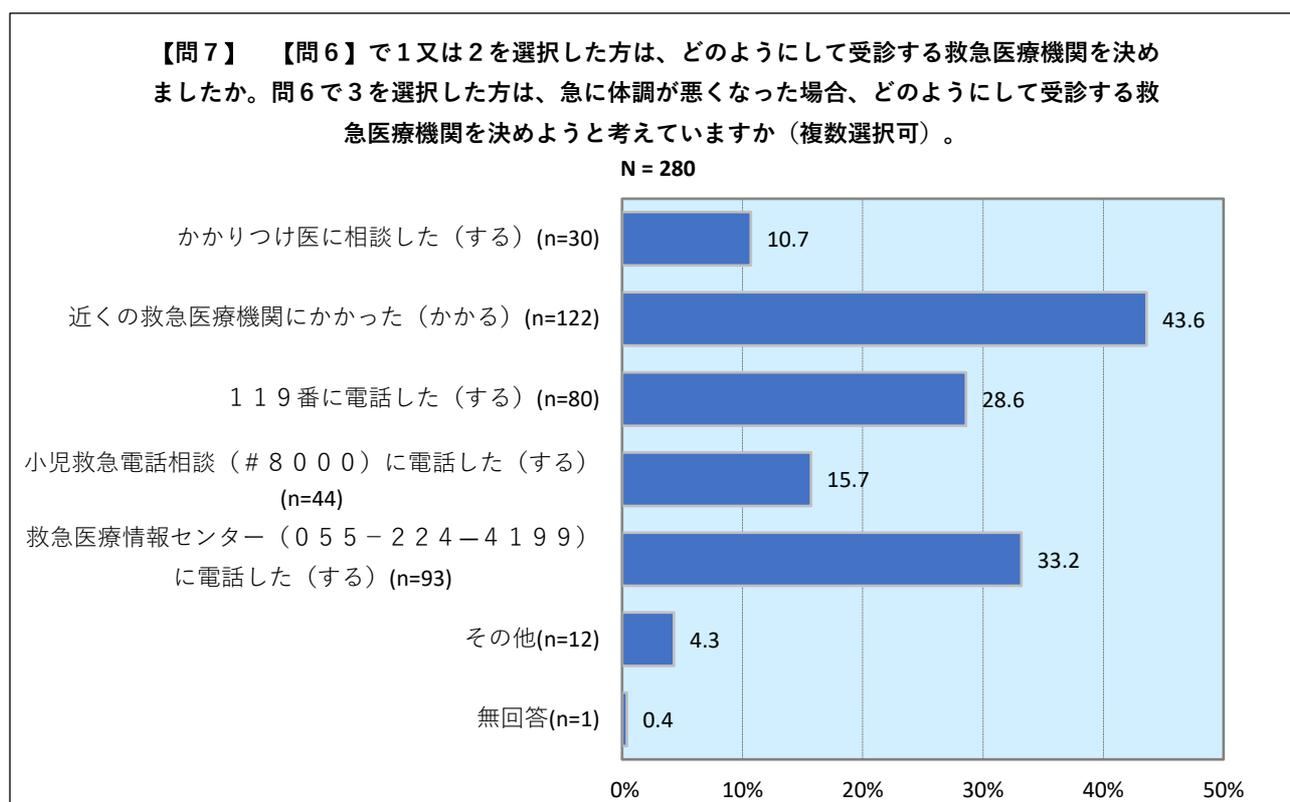
**図表 9 休日や夜間の救急医療機関受診有無（「かかりつけ医」の有無別）**



## (2) どのようにして受診する救急医療機関を決めたか（どのようにして受診する救急医療機関を決めようと考えているか）

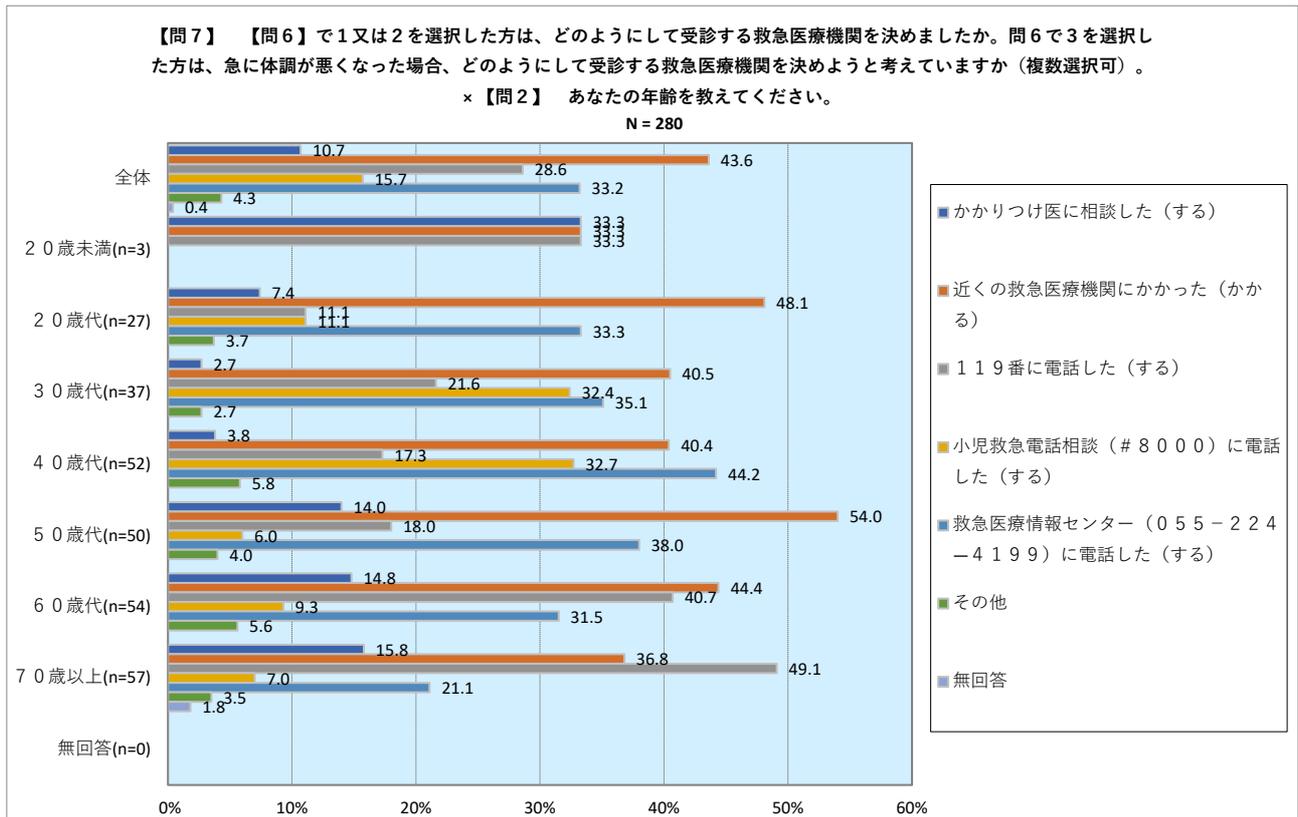
- 「どのようにして受診する救急医療機関を決めたのか、急に体調が悪くなった場合、どのようにして受診する救急医療機関を決めようと考えているのか」については、「近くの救急医療機関にかかった（かかる）」が最多で43.6%（122人）、次いで、「救急医療情報センター（055-224-4199）に電話した（する）」が33.2%（93人）、「119番に電話した（する）」が28.6%（80人）となっている。

図表 10 受診する救急医療機関の決定方法



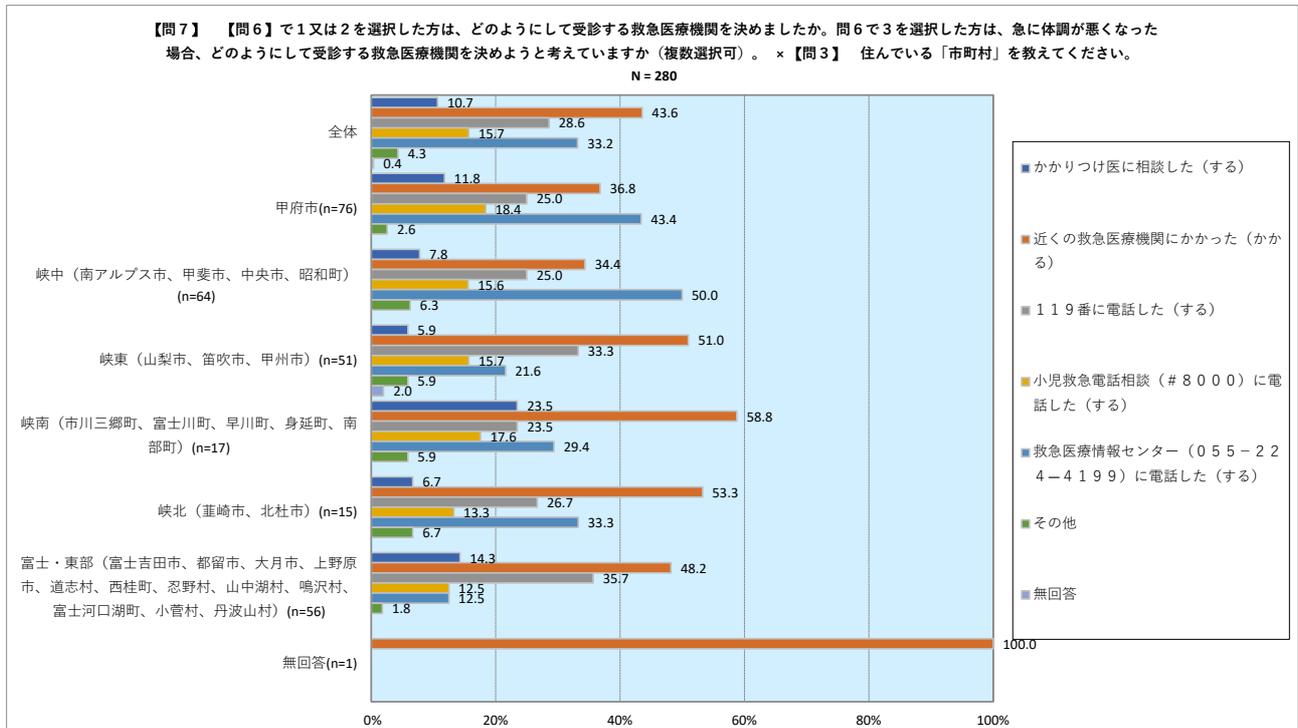
- 受診する医療機関の決め方について、年齢別にみると、70歳以上を除く年代では、「近くの救急医療機関にかかった（かかる）」と回答した割合が最も多いが、「70歳以上」では、「119番に電話した（する）」が最も多く50.0%と半数を占めている。また、子どもの受診に関連して、「小児救急電話相談（#8000）に電話した（する）」と回答した割合が「30歳代」では32.4%、「40歳代」においては32.7%と高くなっている。

図表 11 受診する救急医療機関の決定方法（年齢区分別）



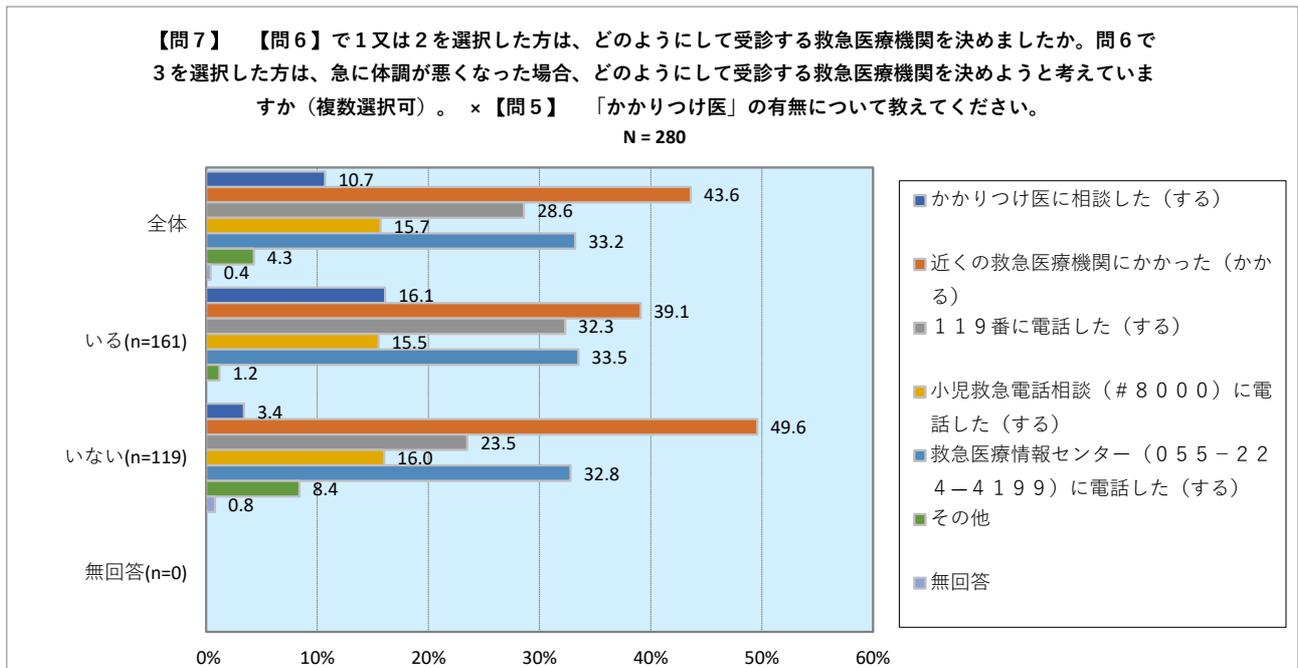
- 受診する医療機関の決め方について、住んでいる市町村別にみると、「救急医療情報センター（055-224-4119）に電話した（する）」と回答した割合が「甲府市」では43.4%、「峡中」では50.0%と最も多いが、その他の地域では、「近くの救急医療機関にかかった（かかる）」が最も多く約50.0%以上と半数近くを占めている。

図表 12 受診する救急医療機関の決定方法（住んでいる「市町村」別）



- 受診する医療機関の決め方について、かかりつけ医の有無別にみると、かかりつけ医がいる場合は、「近くの救急医療機関にかかった（かかる）」と回答した割合が39.1%と最も多いが、「119番に電話した（する）」と回答した割合は32.3%とかかりつけ医がない場合に比べて高くなっている。また、かかりつけ医がない場合においても「近くの救急医療機関にかかった（かかる）」が最も多いが、50.0%と半数近くを占めている。

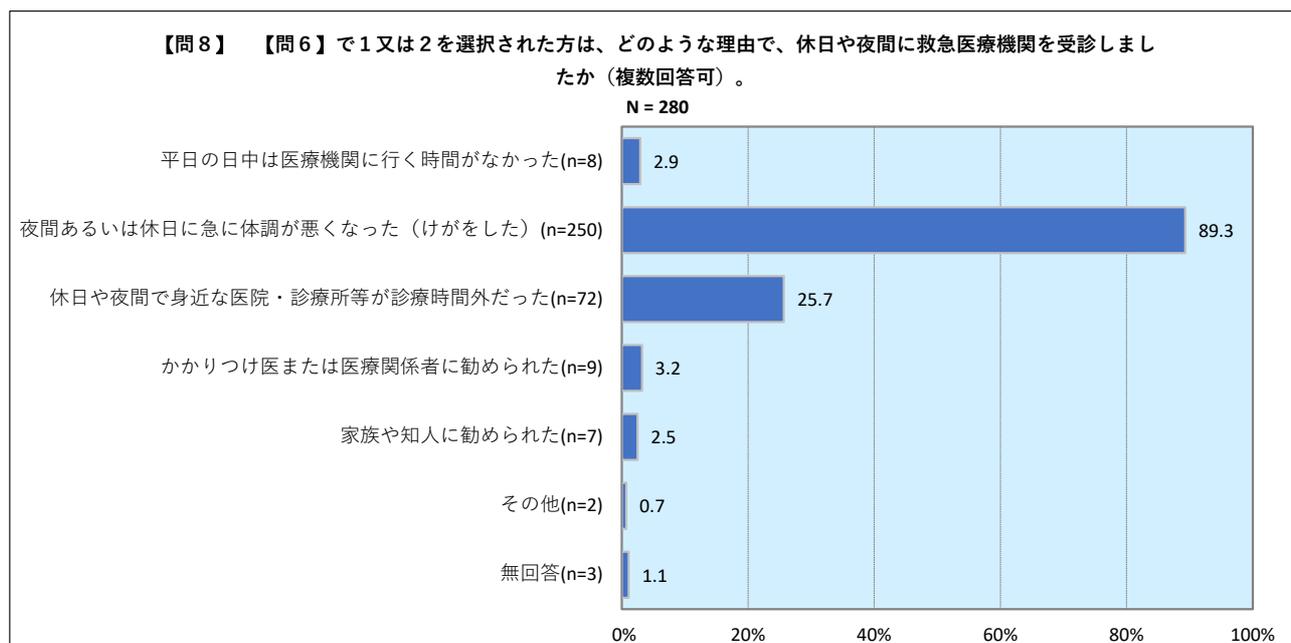
図表 13 受診する救急医療機関の決定方法（「かかりつけ医」の有無別）



### (3) どのような理由で、休日や夜間に救急医療機関を受診したか

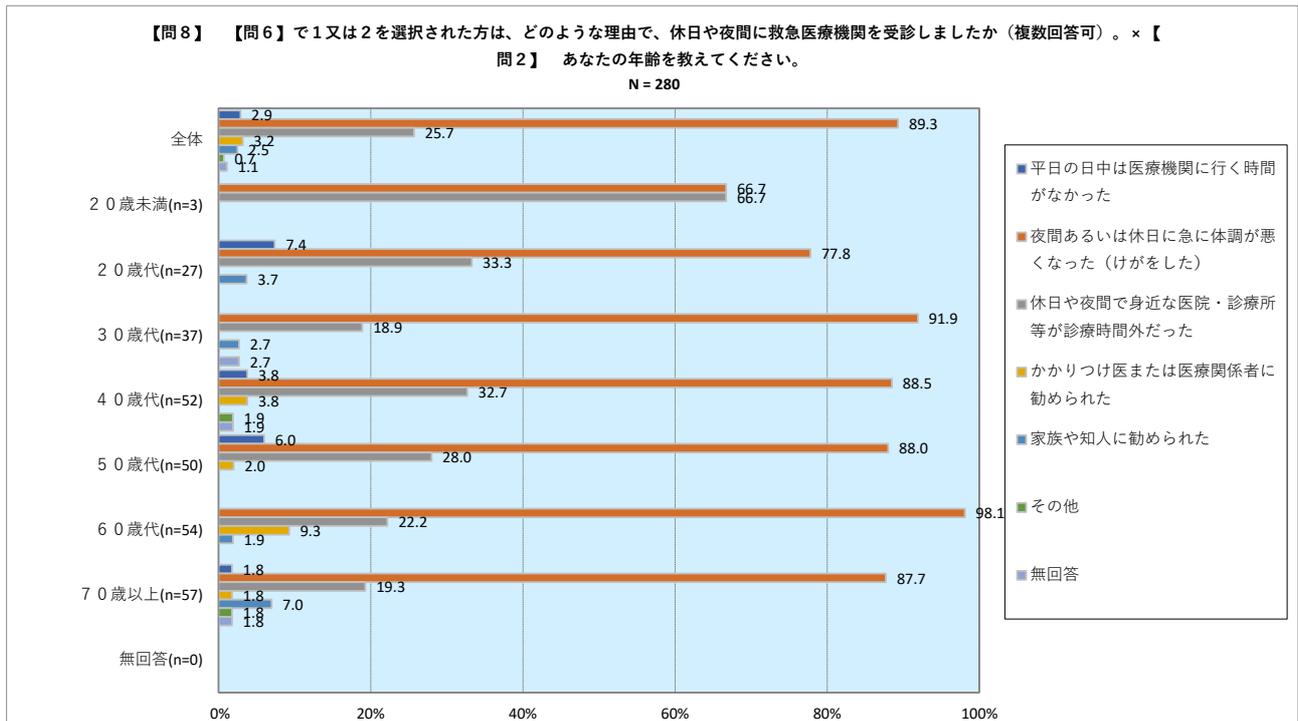
- 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由については、「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」が最多で89.3%（250人）、次いで、「休日や夜間で身近な医院・診療所等が診療時間外だった」が25.7%（72人）、「かかりつけ医または医療関係者に勧められた」が3.2%（9人）となっている。

図表 14 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由



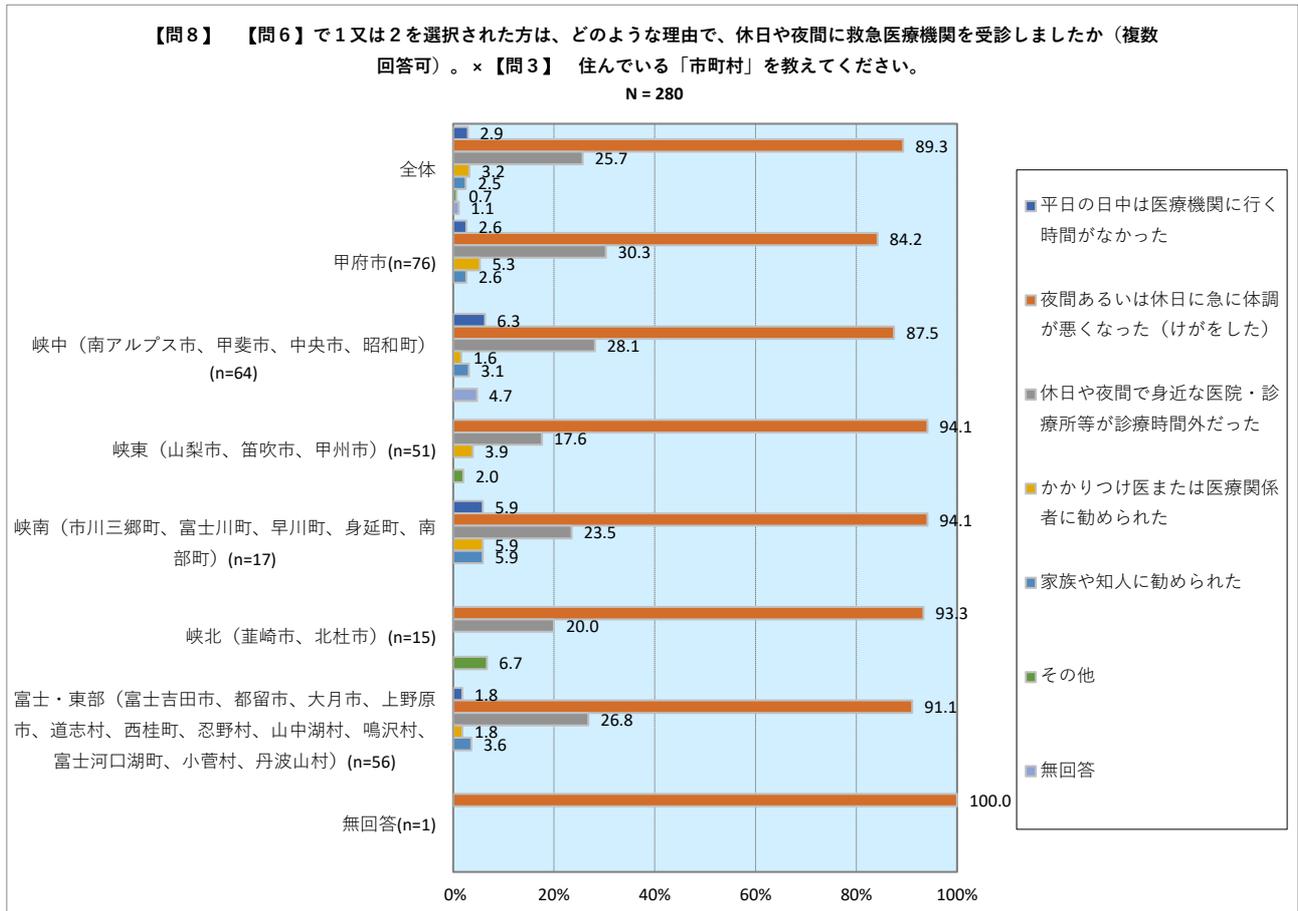
- 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由について、年齢別にみると、どの年代においても「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」と回答した割合が最も多く、次いで、「休日や夜間で身近な医療・診察所等が診療時間外だった」と回答した割合が多かった。また、「かかりつけ医または医療関係者に勧められた」と回答した割合は、「60歳代」では約10%回答があったが、40歳未満では全く回答がなかった。

図表 15 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由（年齢区分別）



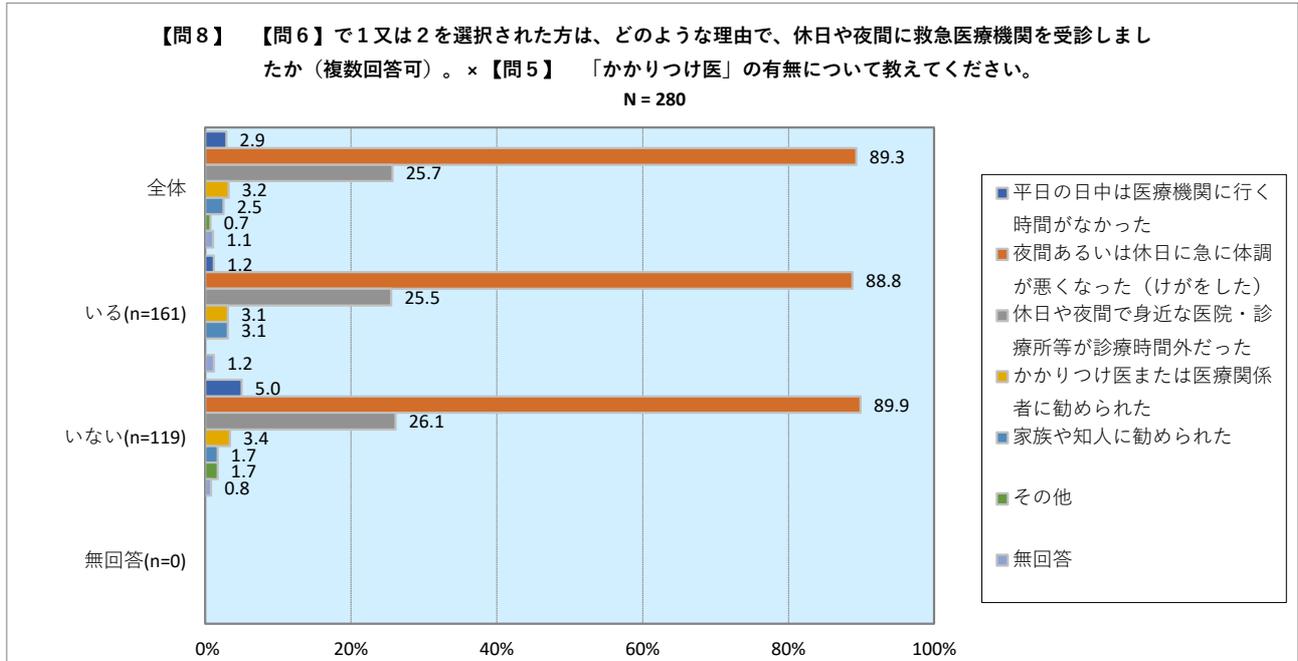
- 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由について、住んでいる市町村別にみると、どの地域においても「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」と回答した割合が80.0%を超えており、最も多かった。その他の地域では、次いで、「休日や夜間で身近な医院・診療所等が診療時間外だった」と回答した割合が多かった。

図表 16 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由（住んでいる「市町村」別）



- 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由について、かかりつけ医の有無別にみると、どちらも「夜間あるいは休日に急に体調が悪くなった（けがをした）」と回答した割合が約90%前後と最も多く、次いで、「休日や夜間で身近な医院・診療所等が診療時間外だった」と回答した割合が約25%と多かった。

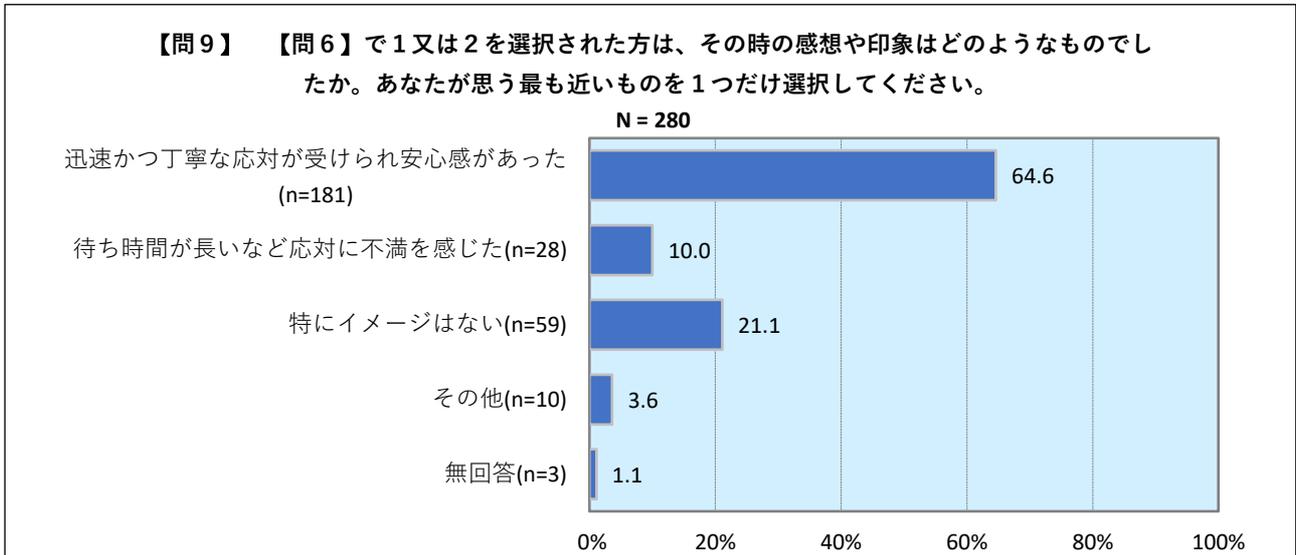
図表 17 休日や夜間に救急医療機関を受診した理由（「かかりつけ医」の有無別）



#### (4) 休日や夜間に救急医療機関へ受診した際の感想や印象

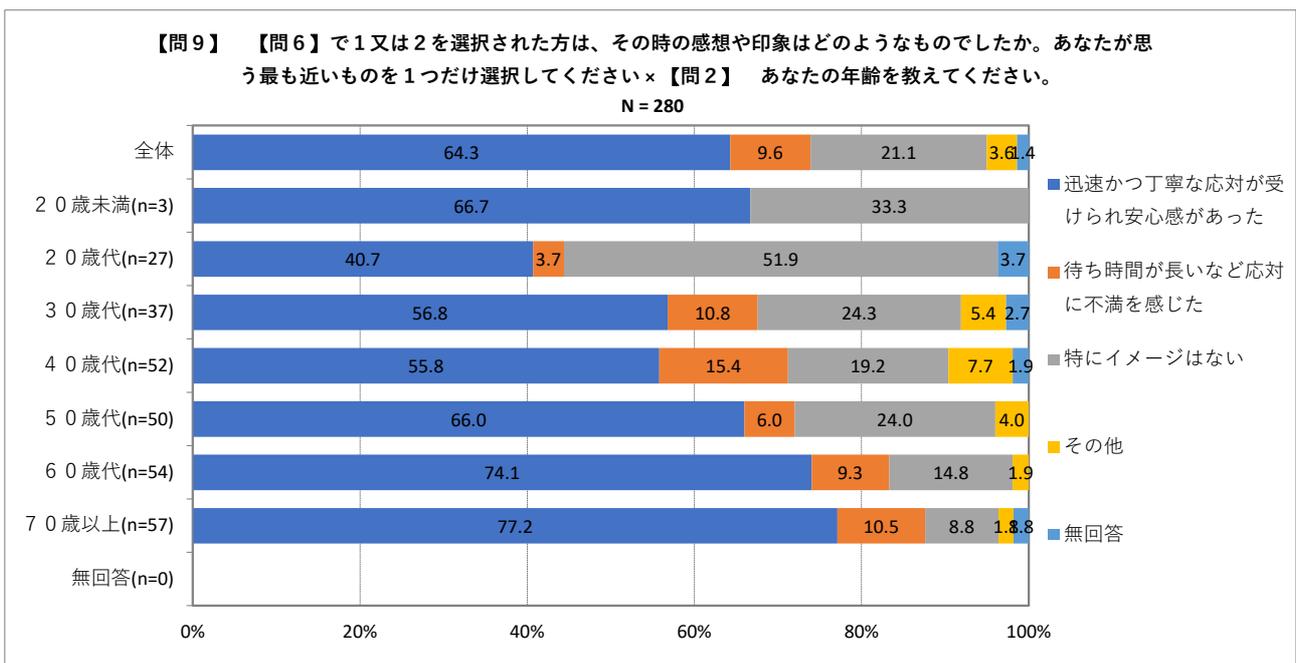
- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した際の感想や印象については、「迅速かつ丁寧な対応が受けられ安心感があった」が最多で64.6%（181人）、次いで、「特にイメージはない」が21.1%（59人）、「待ち時間が長いなど対応に不満を感じた」が10.0%（28人）となっている。

図表 18 救急医療機関を受診した感想や印象



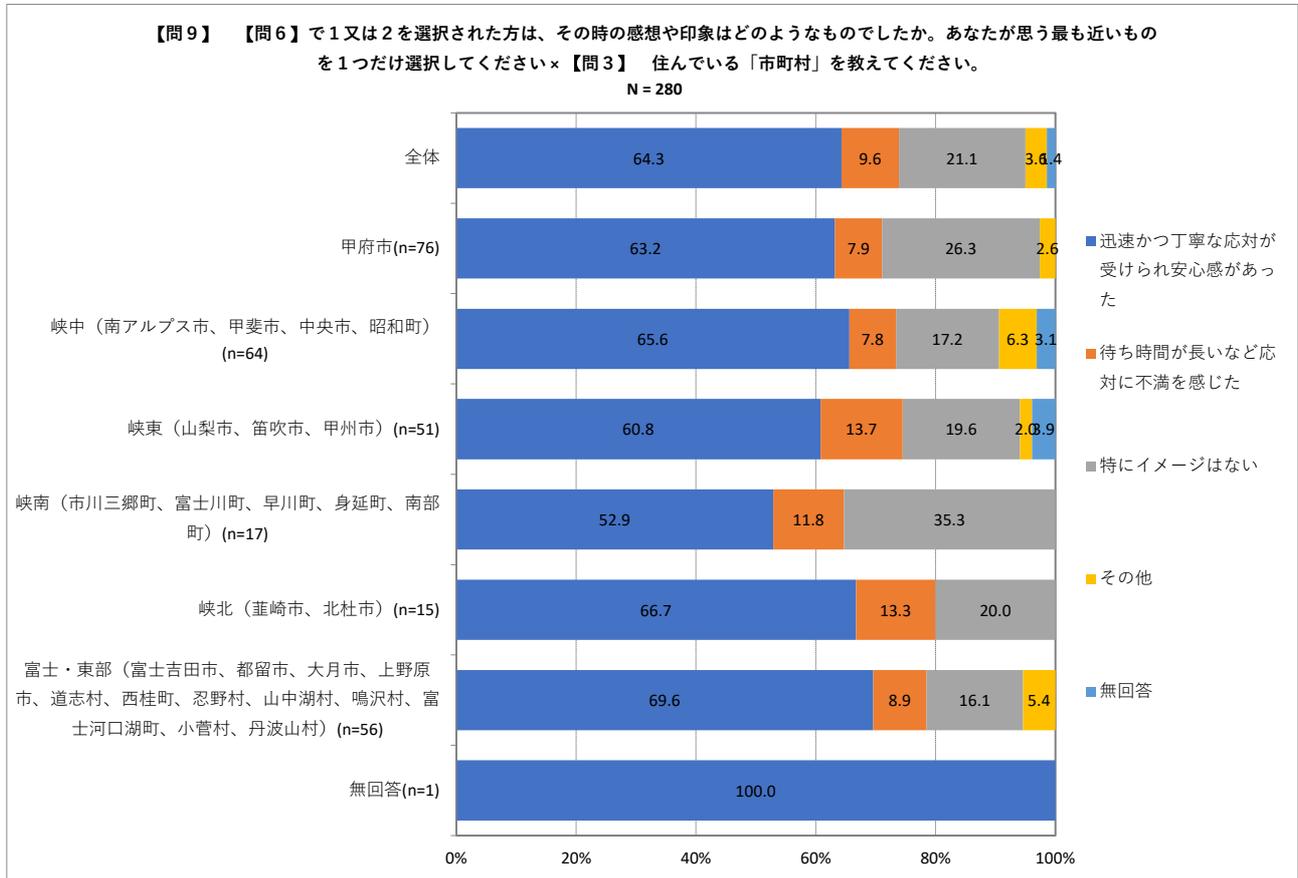
- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した際の感想や印象について、年齢別にみると、「20歳代」を除く年代で「迅速かつ丁寧な対応が受けられ安心感があった」と回答した割合が最も多く、特に「60歳代」では74.1%、「70歳以上」では77.2%となっている。「待ち時間が長いなど対応に不満を感じた」と回答した年代については、「40歳代」の15.4%が最も多かった。

図表 19 救急医療機関を受診した感想や印象（年齢区分別）



- 休日や夜間に救急医療機関へ受診した際の感想や印象について、住んでいる市町村別にみると、「峡南」を除く、どの地域においても「迅速かつ丁寧な対応が受けられ安心感があった」と回答した割合が60%以上と最も多かった。

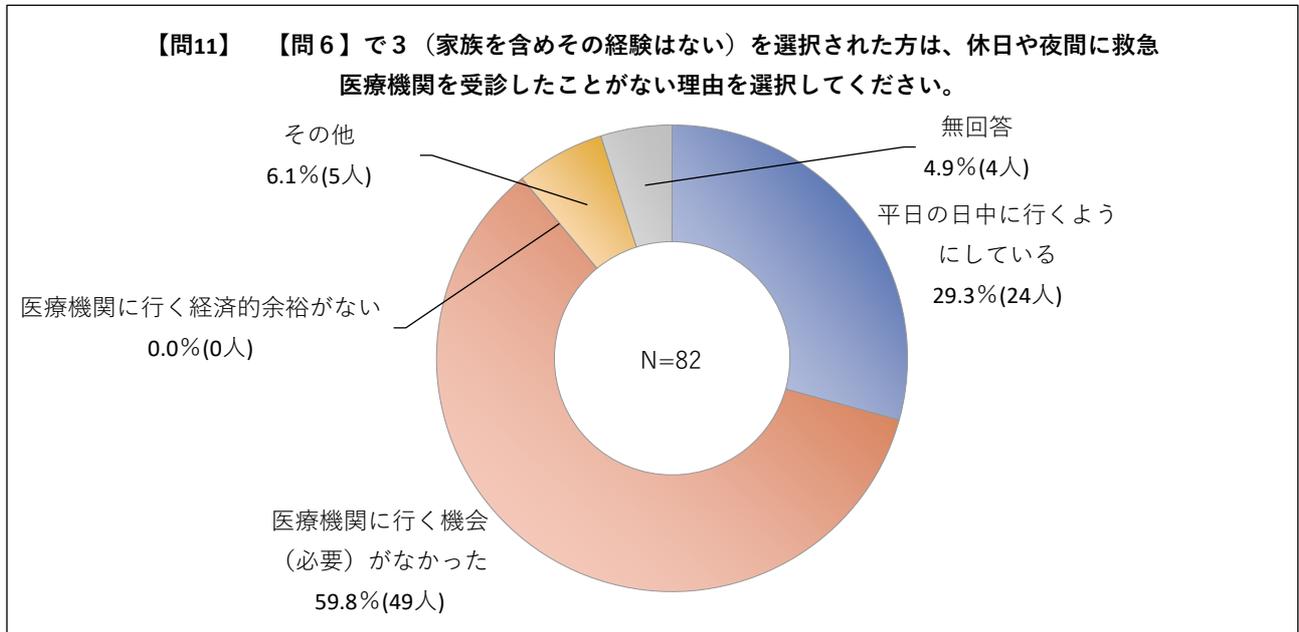
図表 20 救急医療機関を受診した感想や印象（住んでいる「市町村」別）



## (5) 休日や夜間に救急医療機関を受診したことがない理由

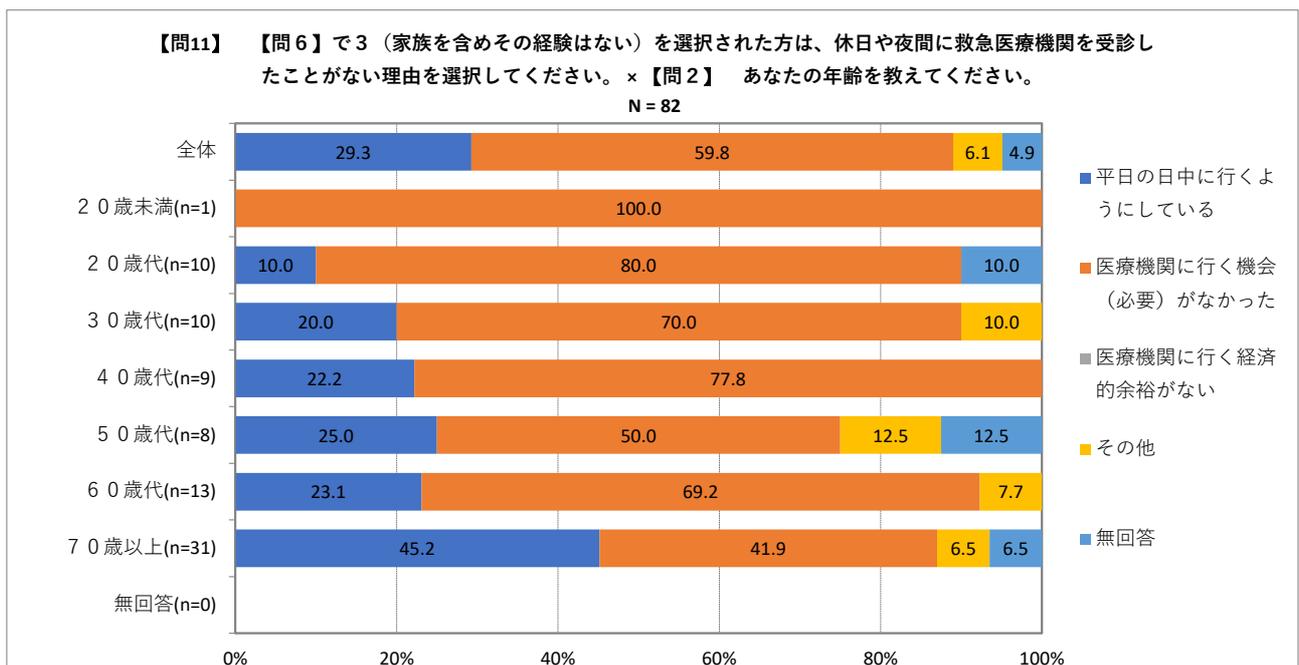
- 休日や夜間に救急医療機関を受診したことがない理由については、「医療機関に行く機会（必要）がなかった」が最多で59.8%（49人）、次いで、「平日の日中に行くようにしている」が29.3%（24人）、「その他」が6.1%（5人）となっている。

図表 21 救急医療機関を受診したことがない理由



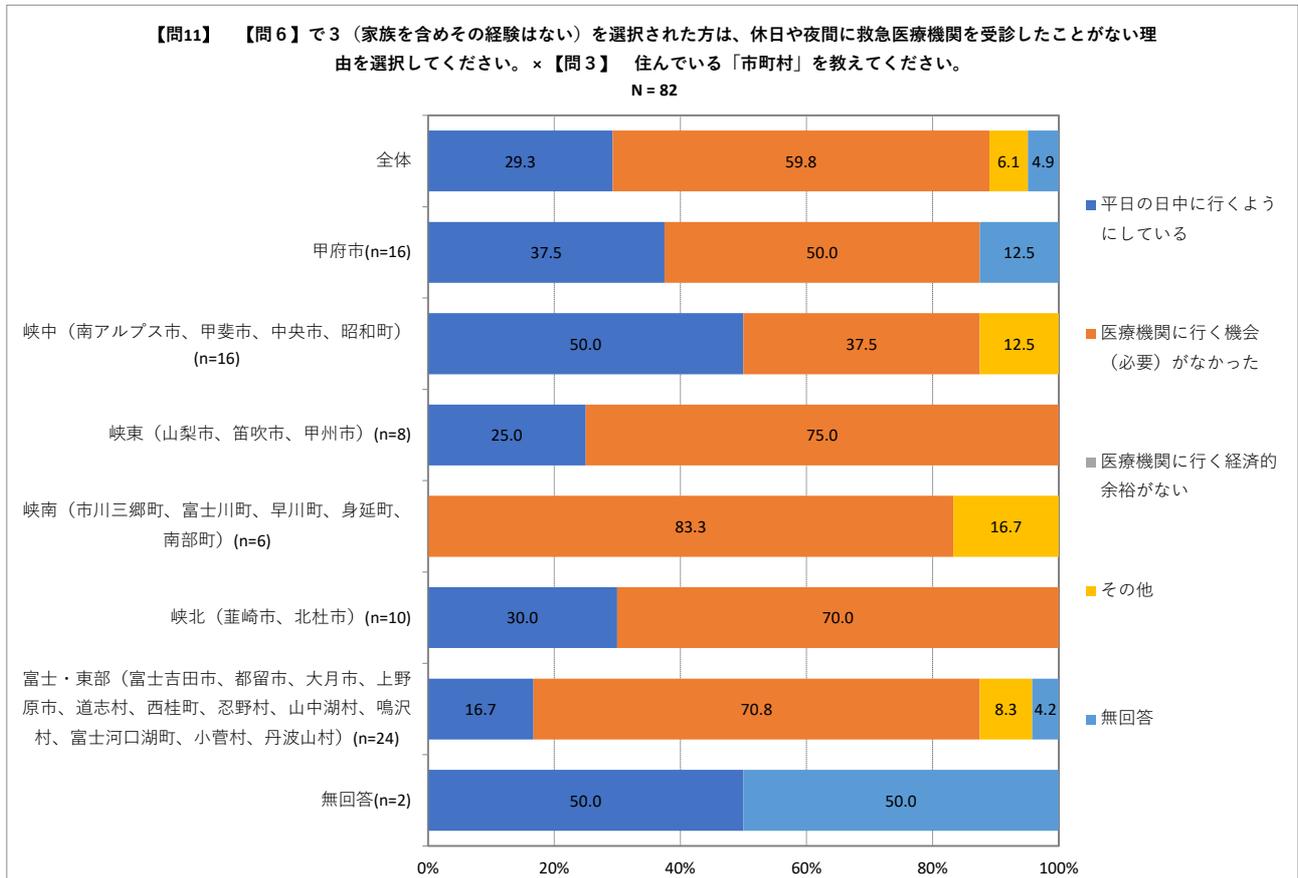
- 休日や夜間に救急医療機関を受診したことがない理由について、年齢別にみると、「70歳以上」を除く年代で「医療機関に行く機会（必要）がなかった」と回答した割合が最も多かった。「平日の日中に行くようにしている」と回答した割合は、「70歳以上」が45.2%と最も多く、おおよそ年齢が低くなるにつれ、割合も多くなっている。

図表 22 救急医療機関を受診したことがない理由（年齢区分別）



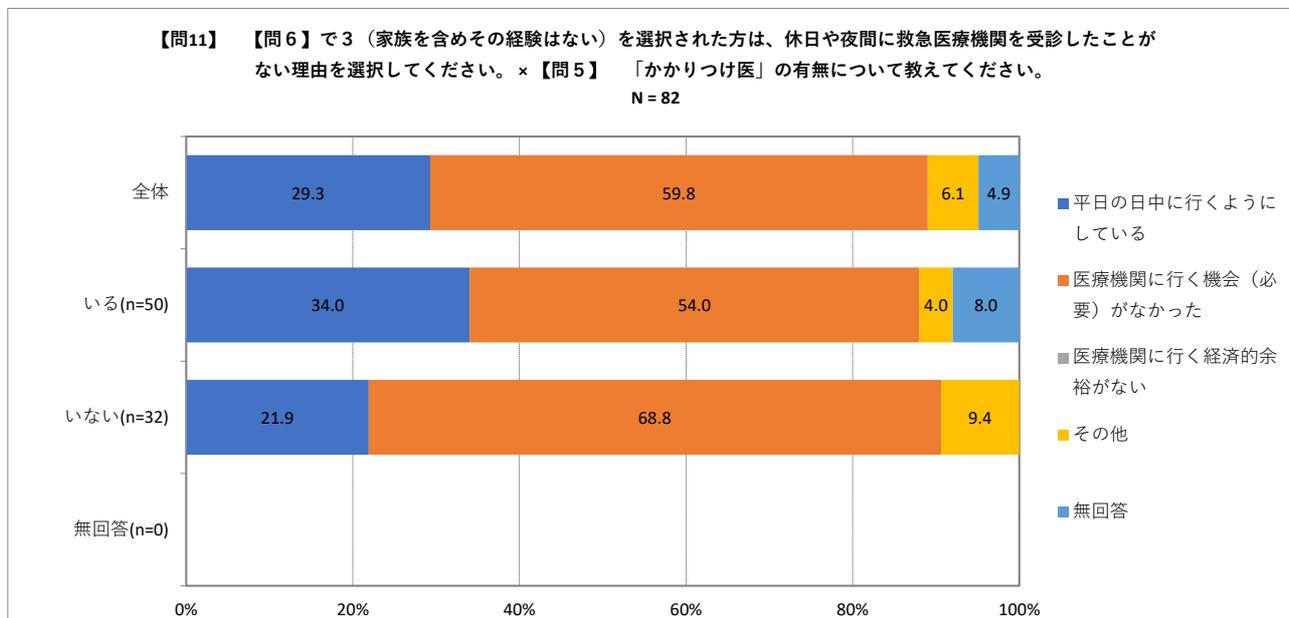
- 休日や夜間に救急医療機関を受診したことがない理由について、住んでいる市町村別にみると、「峡中」を除き、どの地域においても「医療機関に行く機会（必要）がなかった」と回答した割合が50%以上と最も多かった。

**図表 23 救急医療機関を受診したことがない理由（住んでいる「市町村」別）**



- 休日や夜間に救急医療機関を受診したことがない理由について、かかりつけ医の有無別にみると、「平日の日中に行くようにしている」と回答した割合は「いる」の場合が 34.0%、「いない」の場合は 21.9%と、かかりつけ医の有無によって多少の差がみられた。

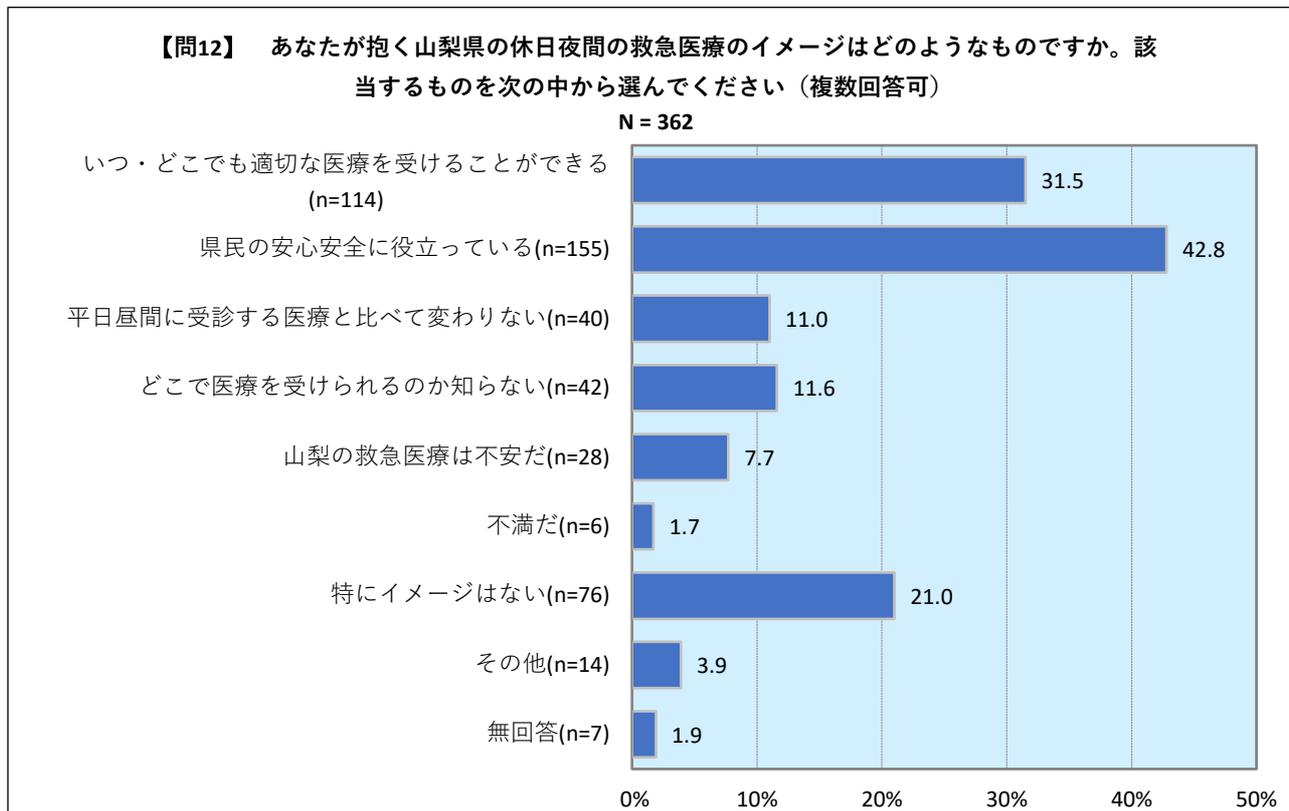
図表 24 救急医療機関を受診したことがない理由（「かかりつけ医」の有無別）



## (6) 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージ

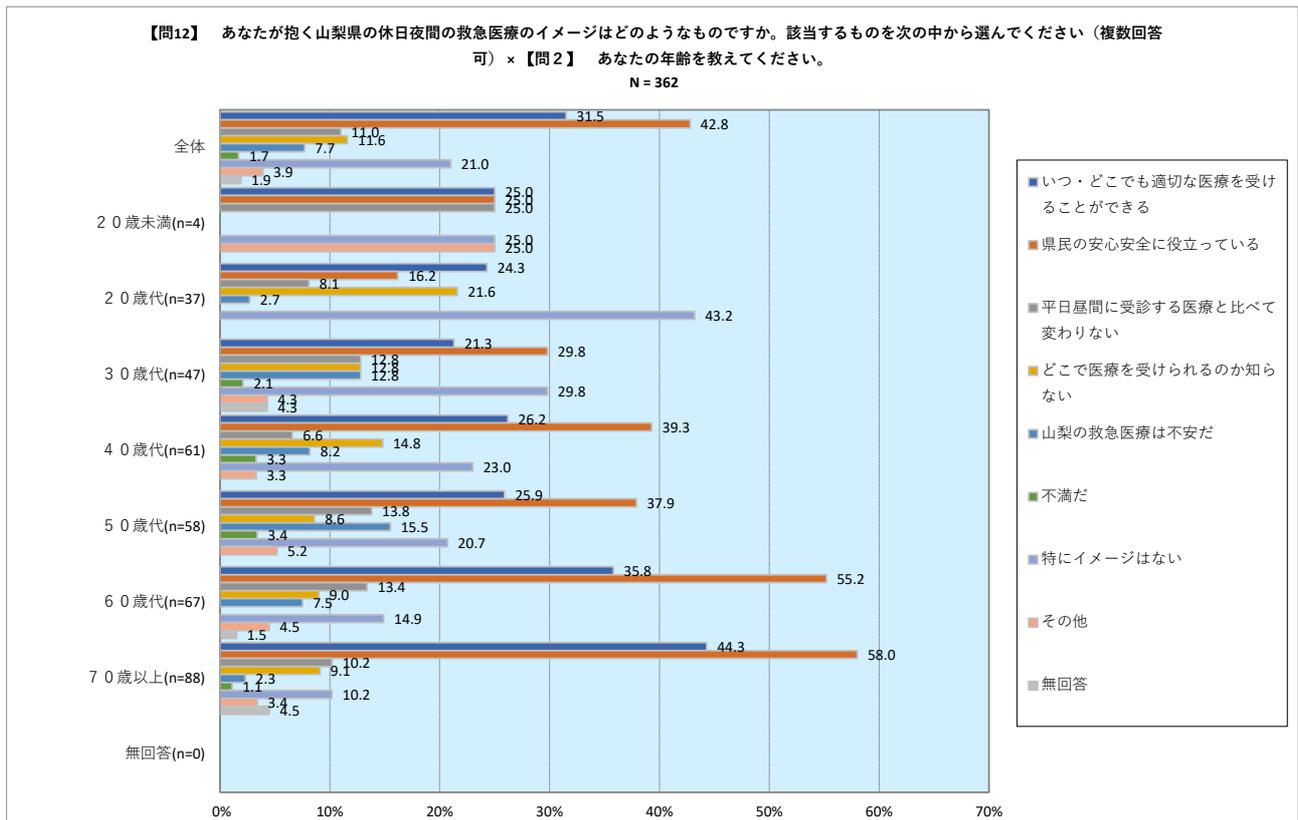
- 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージについては、「県民の安心安全に役立っている」が最多で42.8%（155人）、次いで、「いつ・どこでも適切な医療を受けることができる」が31.5%（114人）、「特にイメージはない」が21.0%（76人）となっている。

図表 25 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージ



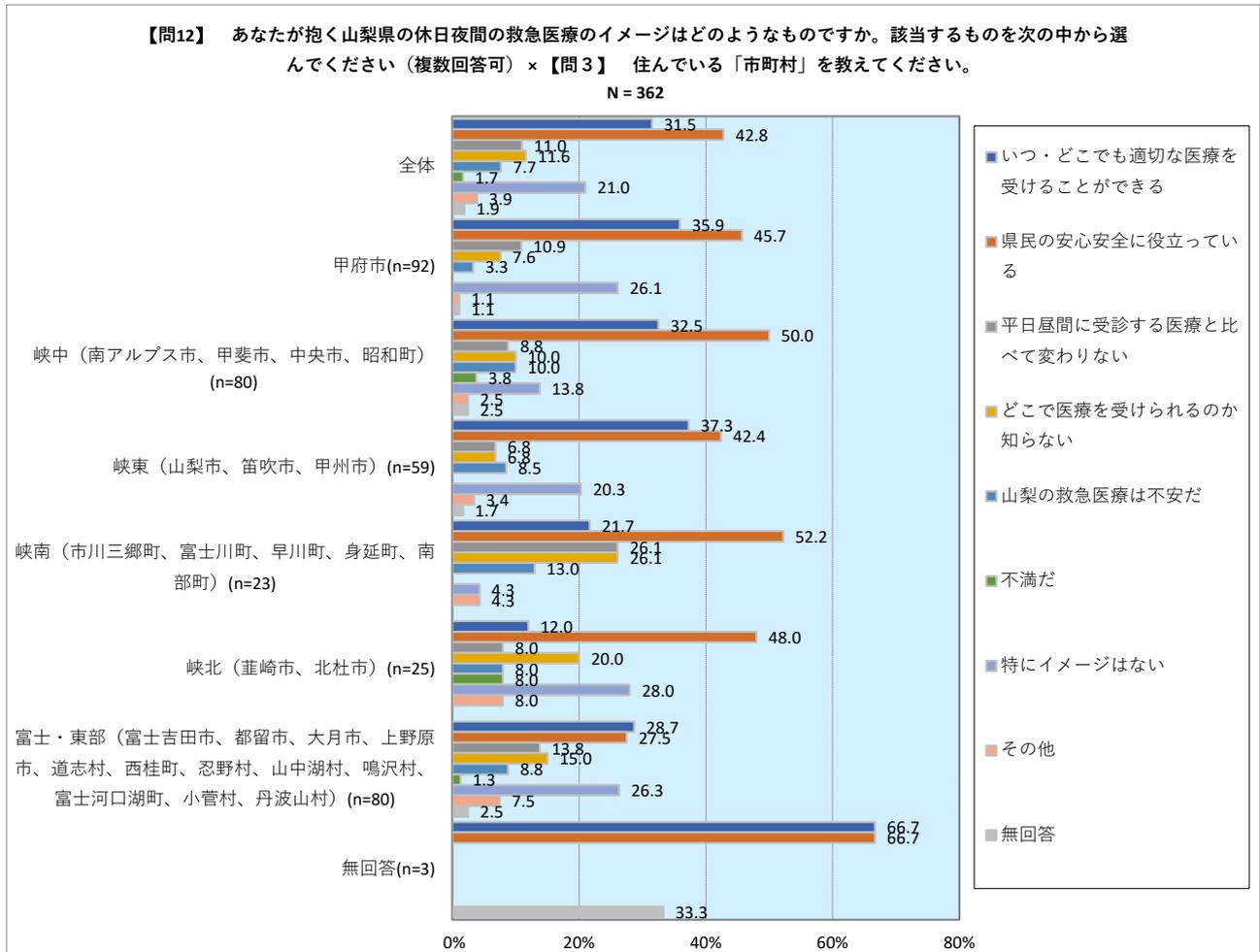
- 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージについて、年齢別にみると、「県民の安心安全に役立っている」と回答した割合は「30歳代」が29.8%、「40歳代」が39.3%、「50歳代」が37.9%、「60歳代」が55.2%、「70歳以上」が58.0%と最も多かった。次いで、「いつ・どこでも適切な医療を受けることができる」と回答した割合がほとんどの年代で多くなっている。

図表 26 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージ（年齢区分別）



- 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージについて、住んでいる市町村別にみると、「県民の安心安全に役立っている」と回答した割合が「甲府市」では45.7%、「峡中」では50.0%、「峡東」では42.4%、「峡南」は52.2%、「峡北」では48.0%と最も多かった。一方で、「富士・東部」においては、27.5%となっており、住んでいる市町村により差異がみられた。

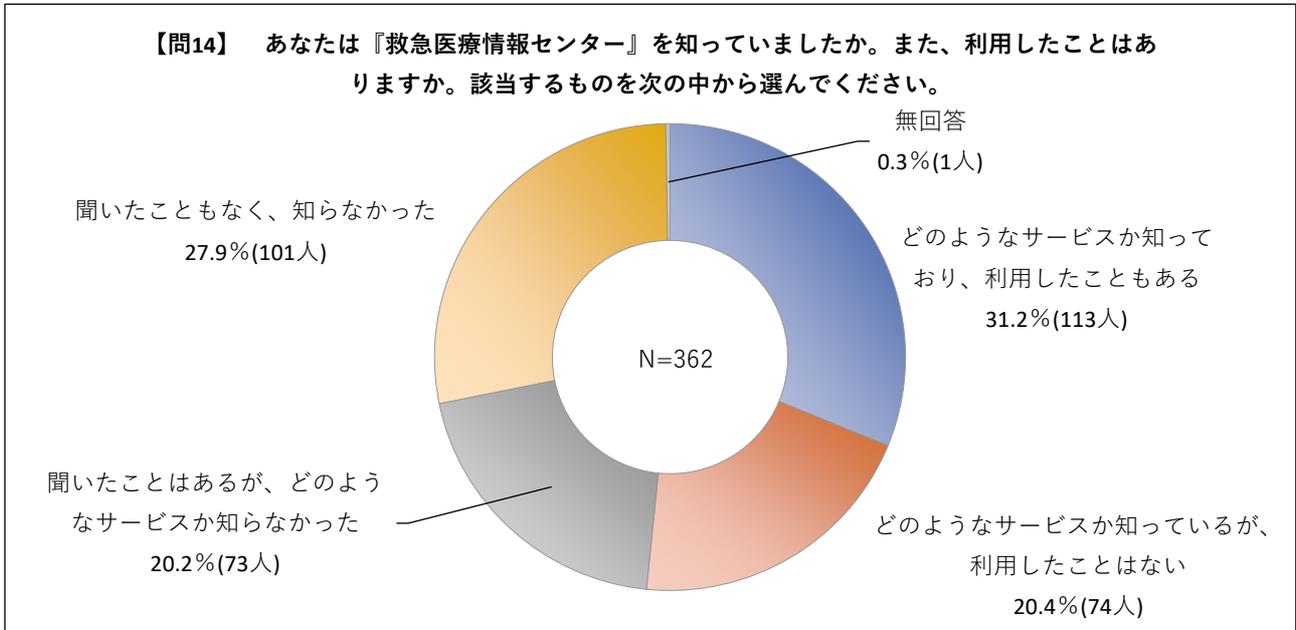
図表 27 山梨県の休日夜間の救急医療のイメージ（住んでいる「市町村」別）



## (7) 『救急医療情報センター』を知っているか

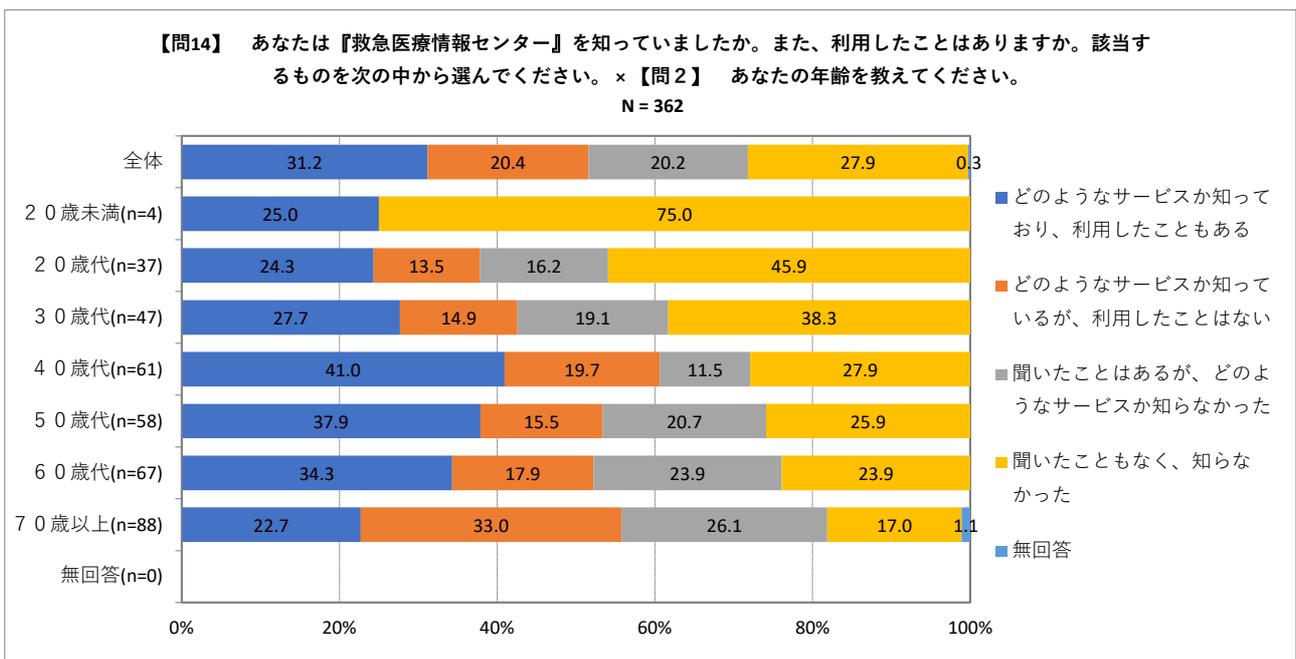
- 「『救急医療情報センター』を知っていましたか。また、利用したことはありますか。」については、「どのようなサービスか知っており、利用したこともある」が最多で31.2%（113人）、次いで、「聞いたこともなく、知らなかった」が27.9%（101人）、「どのようなサービスか知っているが、利用したことはない」が20.4%（74人）となっている。

図表 28 「救急医療情報センター」の認知度、利用有無



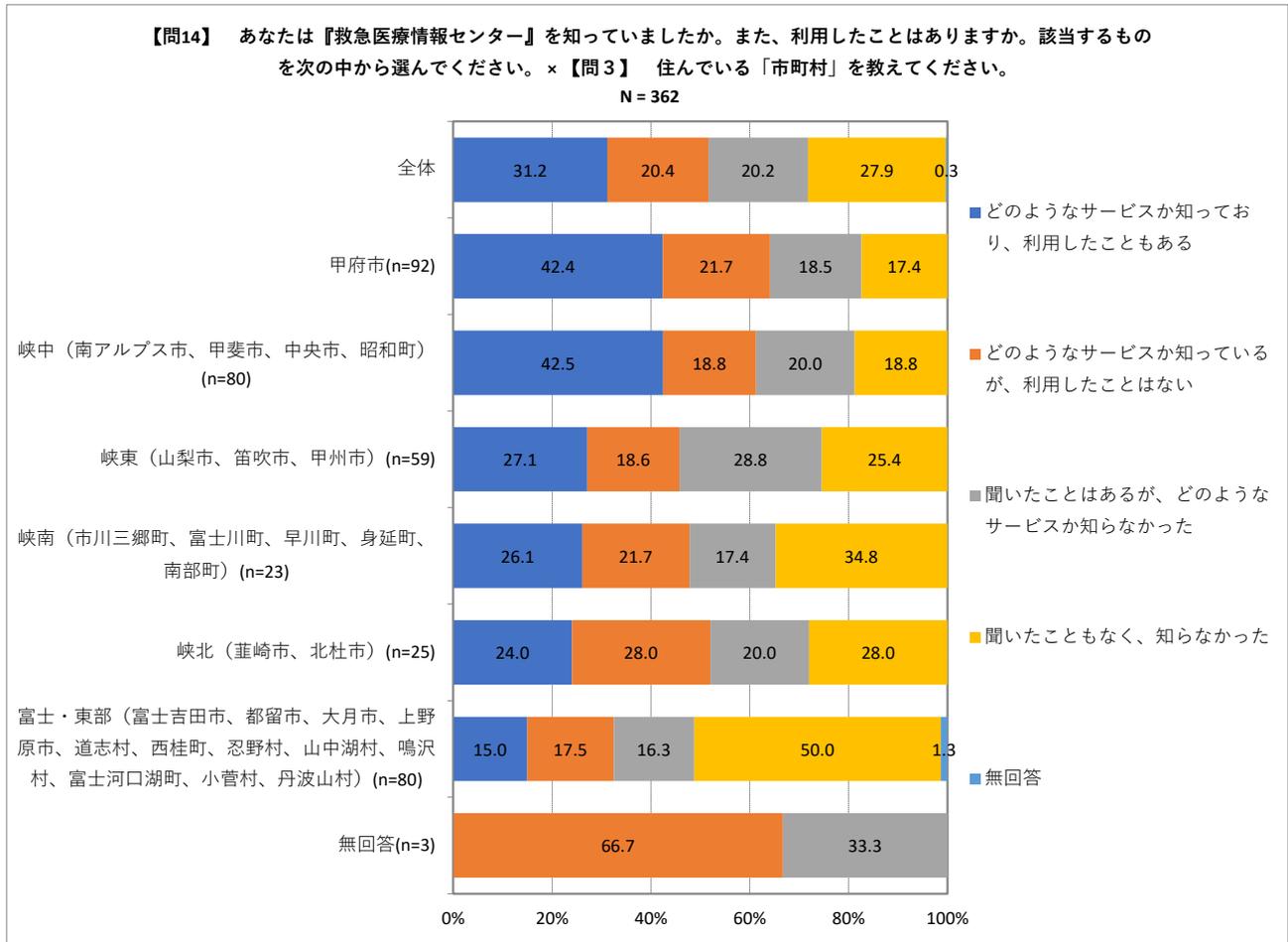
- 「『救急医療情報センター』を知っていましたか。また、利用したことはありますか。」について、年齢別にみると、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合が、年齢が高くなるにつれて少なくなっており、認知度が高くなっていることがわかる。

図表 29 「救急医療情報センター」の認知度、利用有無（年齢区分別）



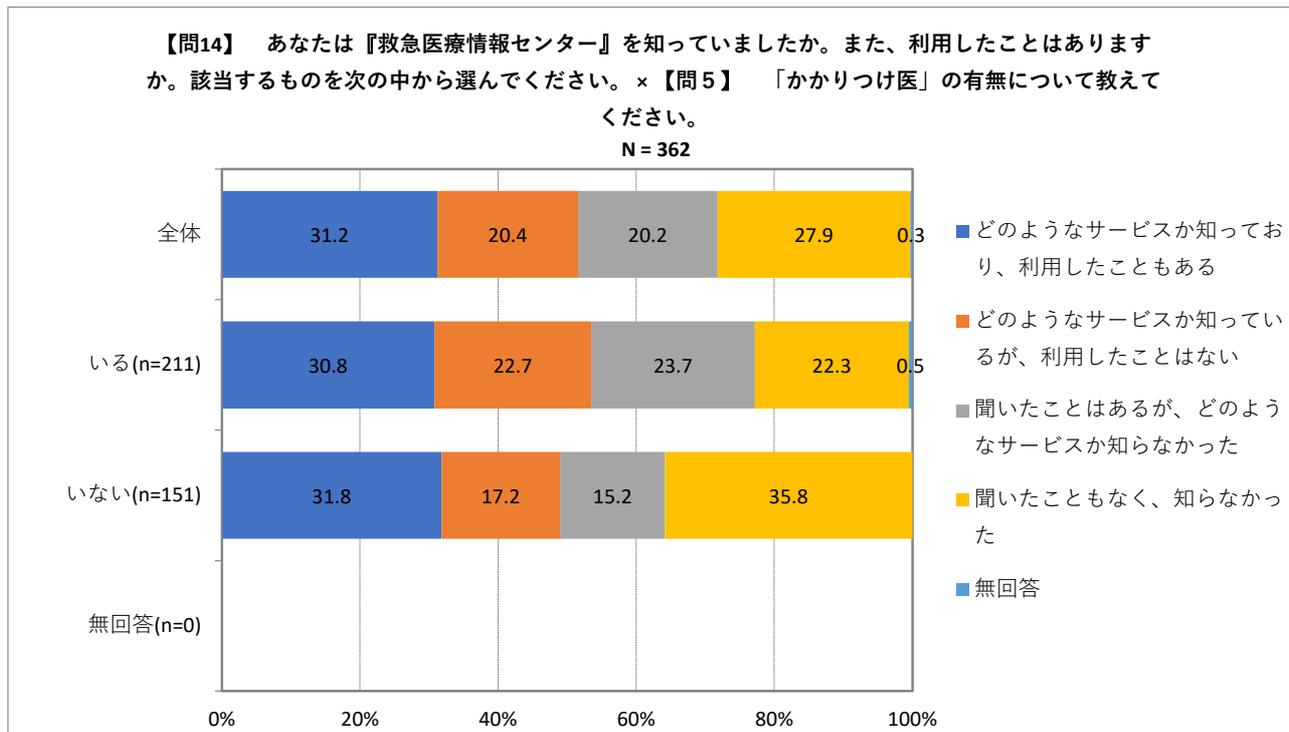
- 「『救急医療情報センター』を知っていましたか。また、利用したことはありますか。」について、住んでいる市町村別にみると、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合が、「甲府市」では17.4%と最も少なくなっている。一方で、「富士・東部」では、約半数が『救急医療情報センター』を認知している。
- また、利用実績については、「甲府市」で42.4%、「峡中」で42.5%と他地域に比べて高くなっている。

図表 30 「救急医療情報センター」の認知度、利用有無（住んでいる「市町村」別）



- 「『救急医療情報センター』を知っていましたか。また、利用したことはありますか。」について、かかりつけ医の有無別にみると、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合が、かかりつけ医がいる場合は24.3%、かかりつけ医がいない場合は35.8%で多少の差異があったが、利用実績については、ほとんど差がなかった。

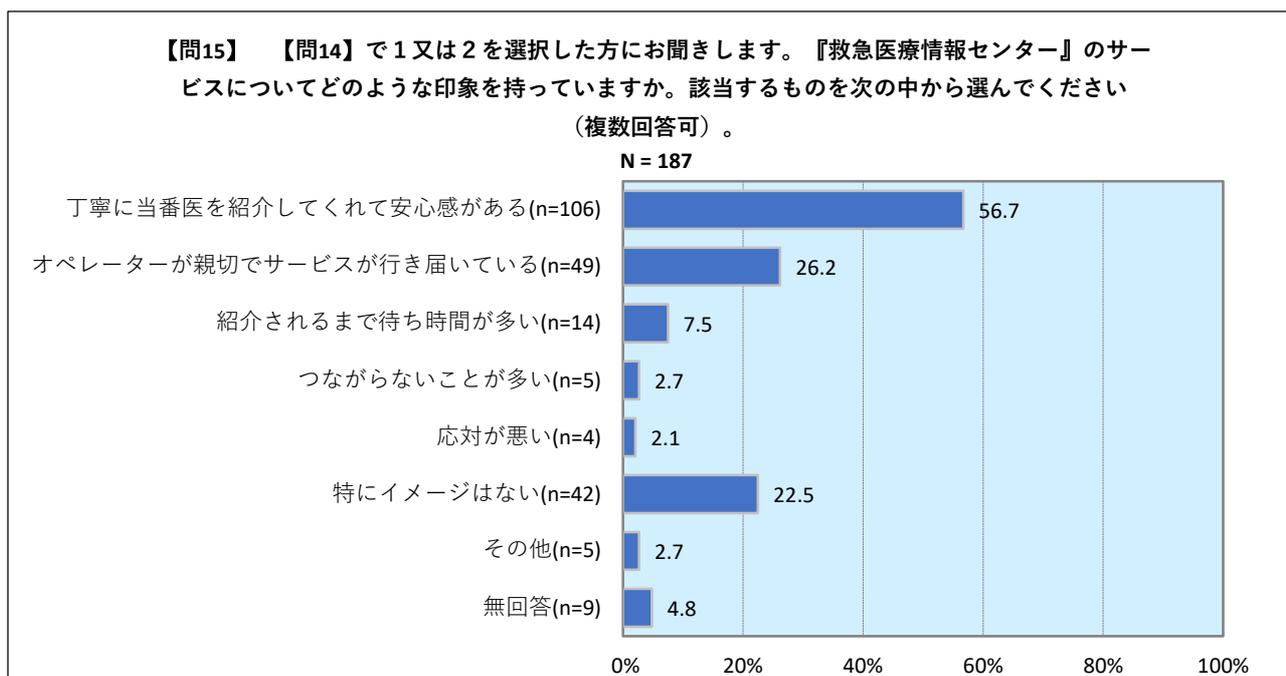
図表 31 「救急医療情報センター」の認知度、利用有無



## (8) 『救急医療情報センター』のサービスについてどのような印象を持っているか

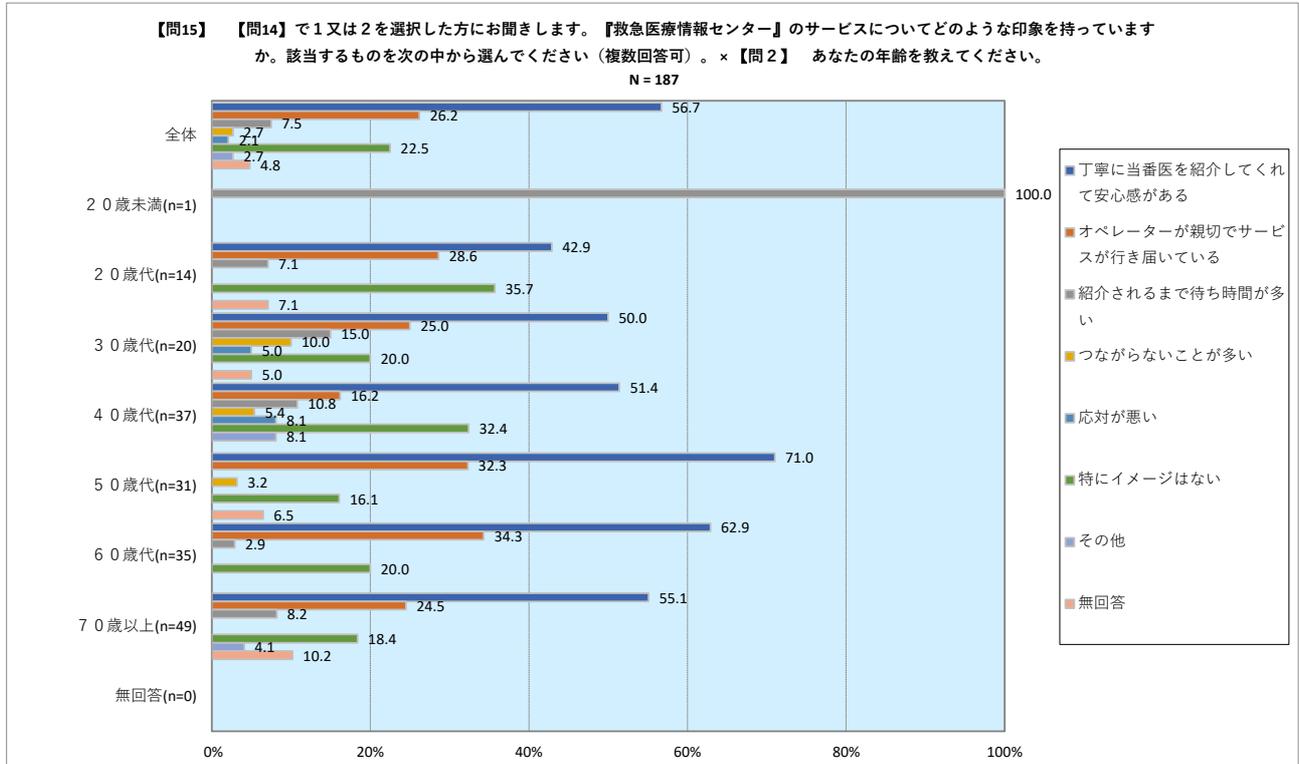
- 『救急医療情報センター』を「知っている」と回答した人のサービスの印象については、「丁寧に当番医を紹介してくれて安心感がある」が最多で56.7%（106人）、次いで、「オペレーターが親切でサービスが行き届いている」が26.2%（49人）、「特にイメージはない」が22.5%（42人）となっている。

図表 32 「救急医療情報センター」の印象



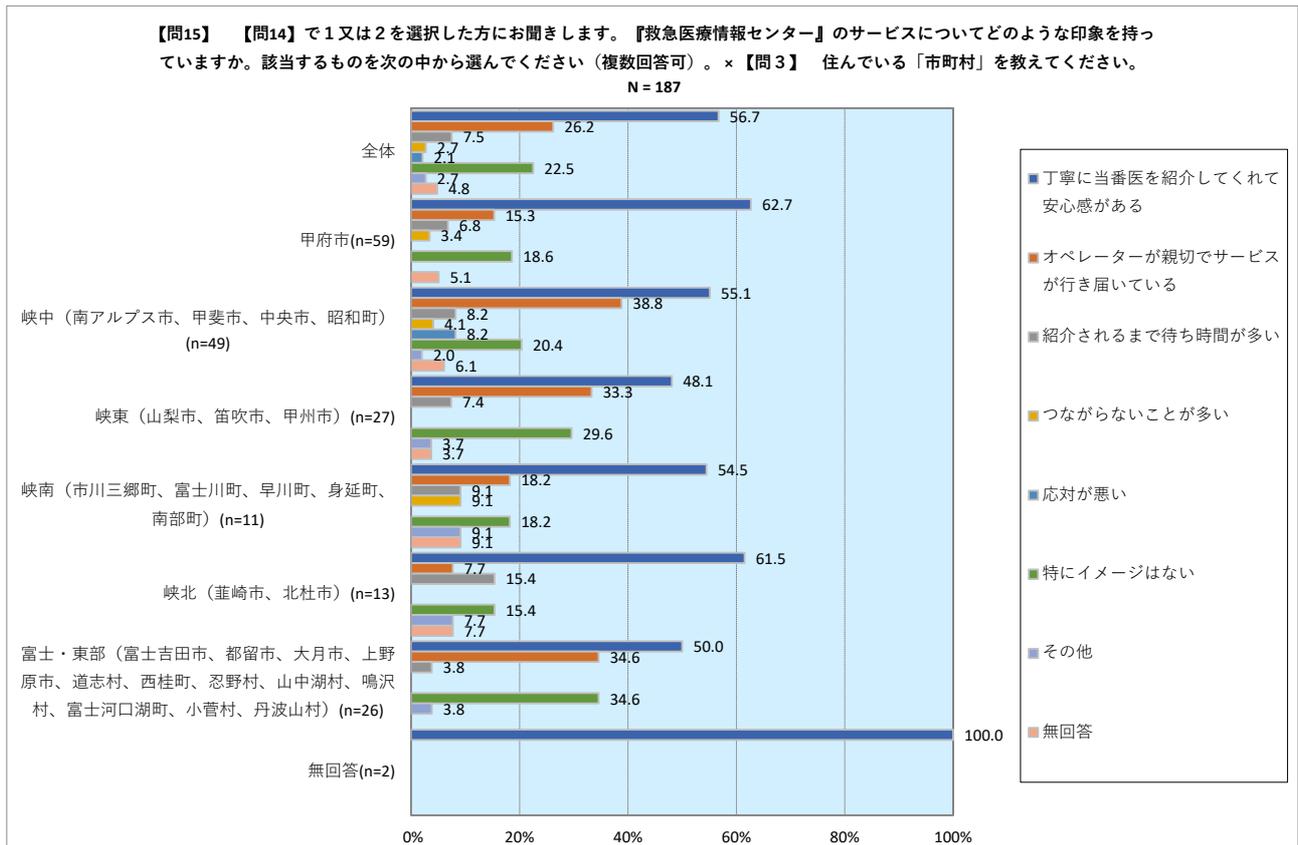
- 『救急医療情報センター』のサービスの印象について、年齢別にみると、「20歳未満」を除く年代で「丁寧に当番医を紹介してくれて安心感がある」と回答した割合が高く、「50歳代」では71.0%と最多となっている。

図表 33 「救急医療情報センター」の印象（年齢区分別）



- 『救急医療情報センター』のサービスの印象について、住んでいる市町村別にみると、「丁寧に当番医を紹介してくれて安心感がある」と回答した割合が、すべての地域で半数以上となっている。
- また、「オペレーターが親切でサービスが行き届いている」と回答した割合については、「峡北」が7.7%と最も低くなっている。

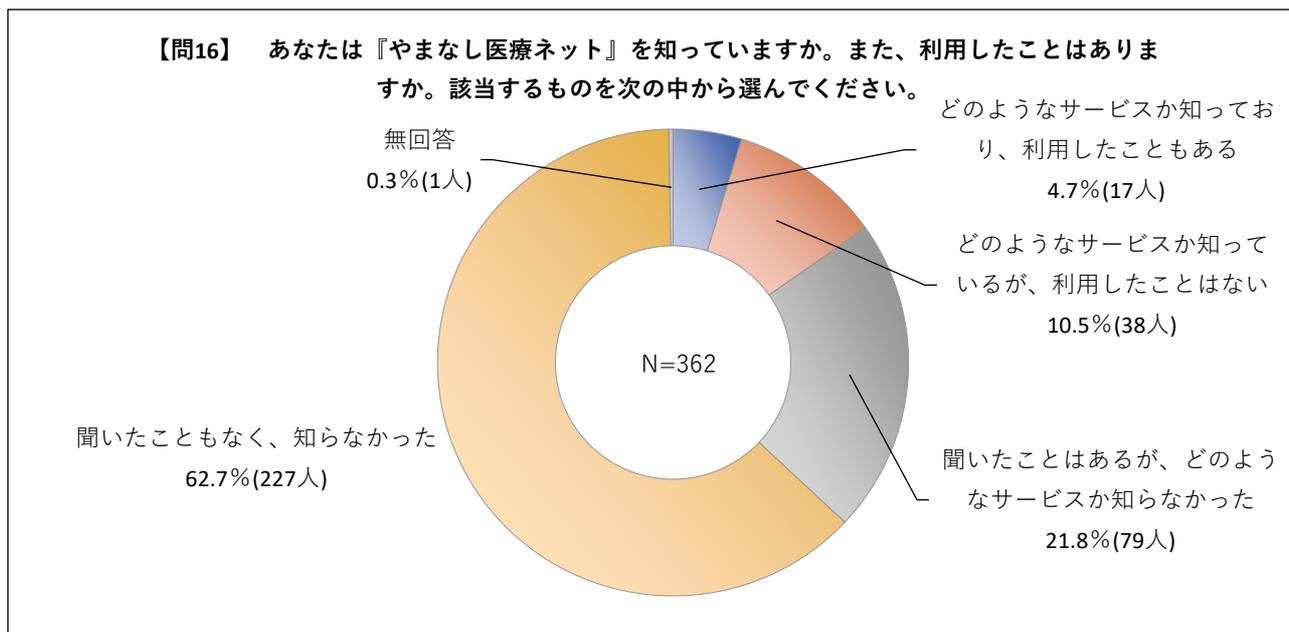
図表 34 「救急医療情報センター」の印象（住んでいる「市町村」別）



## (9) 『やまなし医療ネット』を知っているか

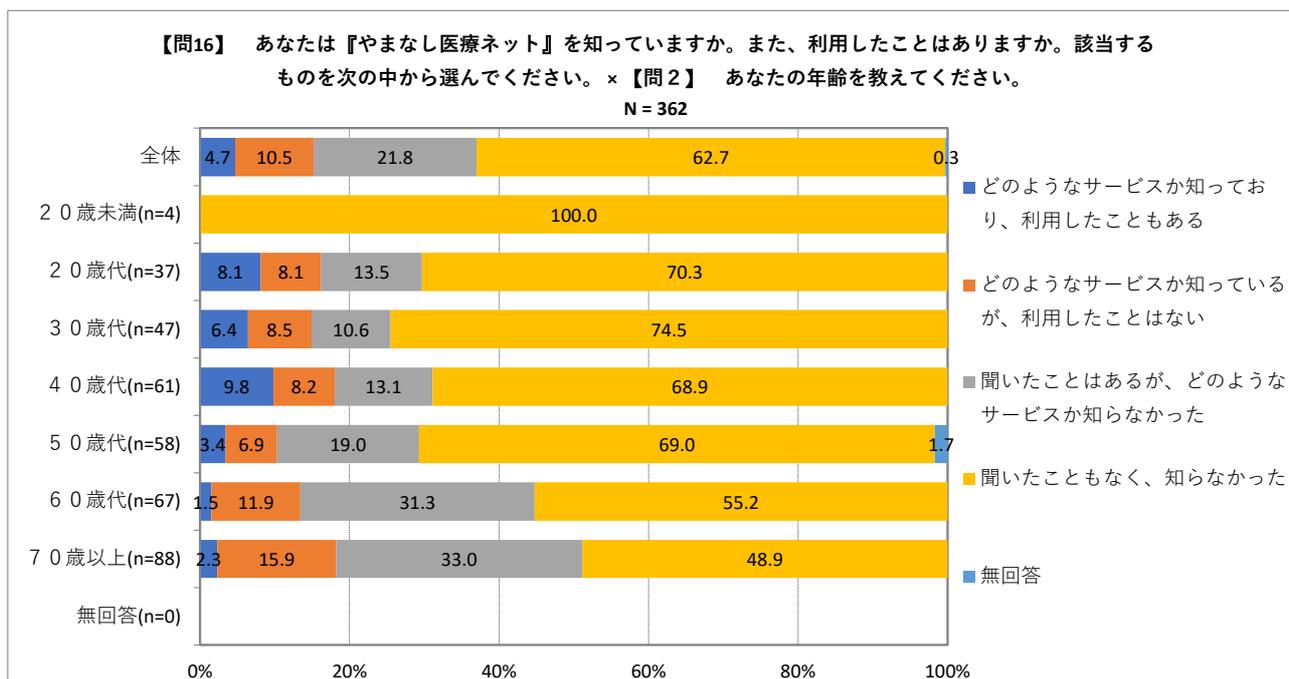
- 「『やまなし医療ネット』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」については、「聞いたこともなく、知らなかった」が最多で62.7% (227人)、次いで、「聞いたことはあるが、どのようなサービスか知らなかった」が21.8% (79人)、「どのようなサービスか知っているが、利用したことはない」が10.5% (38人)となっている。

図表 35 「やまなし医療ネット」の認知度、利用有無



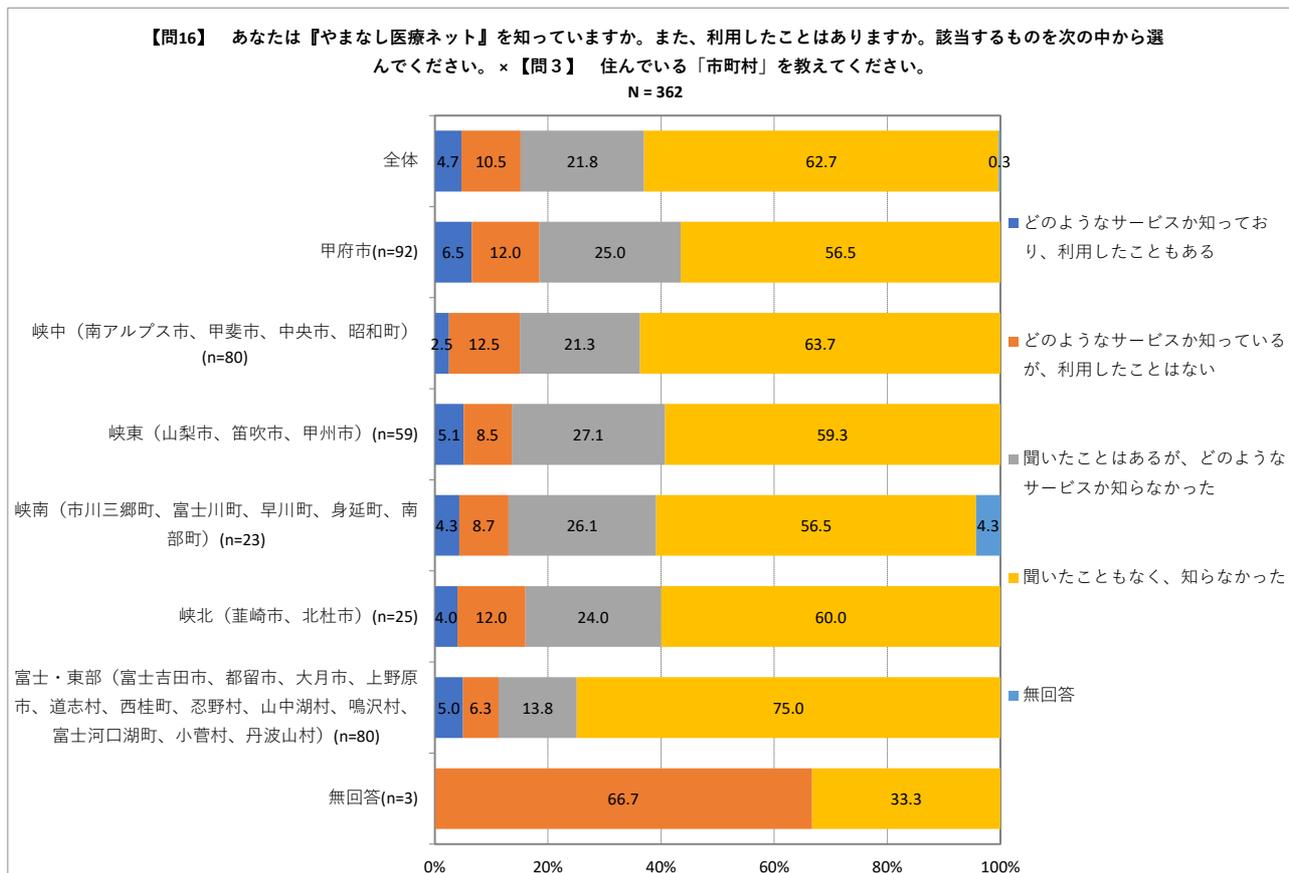
- 「『やまなし医療ネット』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」については、年齢別にみると、「どのようなサービスか知っており、利用したこともある」と回答した割合は、「40歳代」では9.8%、「20歳代」では8.1%、「30歳代」では6.4%となっており、50歳代以降に比べ2倍近く多くなっている。
- 一方で、サービスの認知については、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合は、50歳未満では約70%以上となっているが、「70歳以上」については50%を下回っている。

図表 36 「やまなし医療ネット」の認知度、利用有無（年齢区分別）



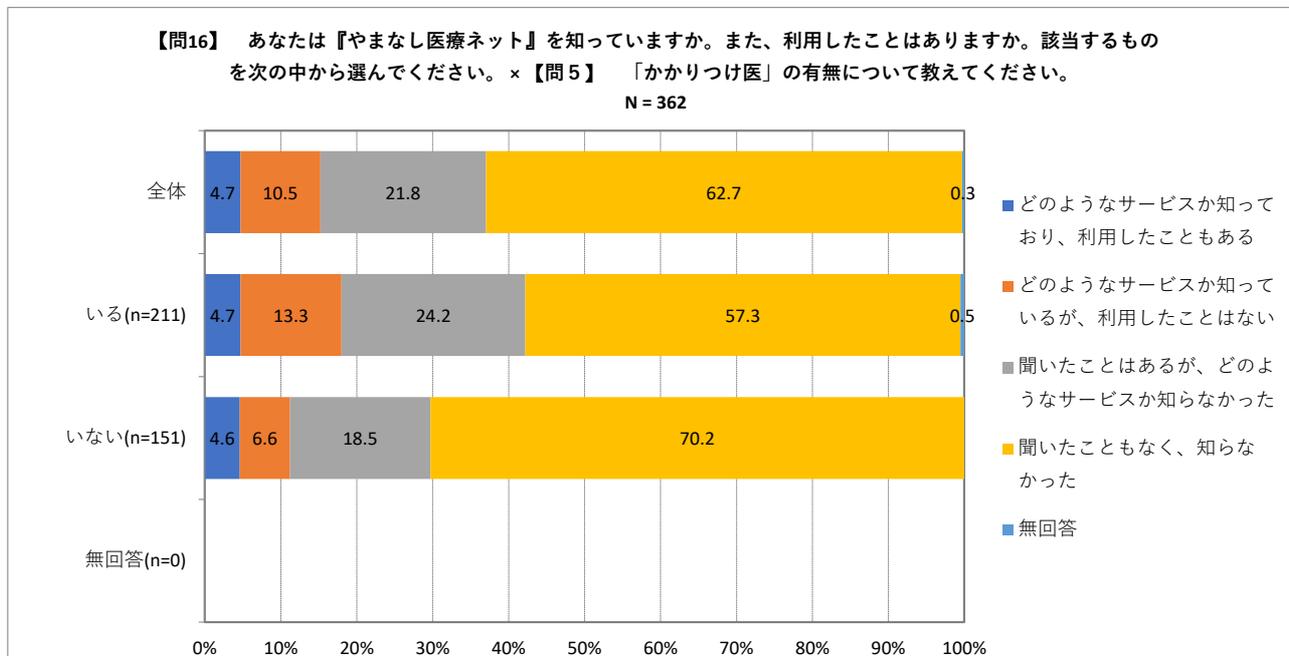
- 「『やまなし医療ネット』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」については、住んでいる市町村別にみると、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合が、「富士・東部」では75.0%と最多となっており、他の地域については、同じ傾向であった。

図表 37 「やまなし医療ネット」の認知度、利用有無（住んでいる「市町村」別）



- 「『やまなし医療ネット』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」については、かかりつけ医の有無別にみると、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合は、かかりつけ医がいる場合は57.3%、いない場合は70.2%と多少の差異があった。

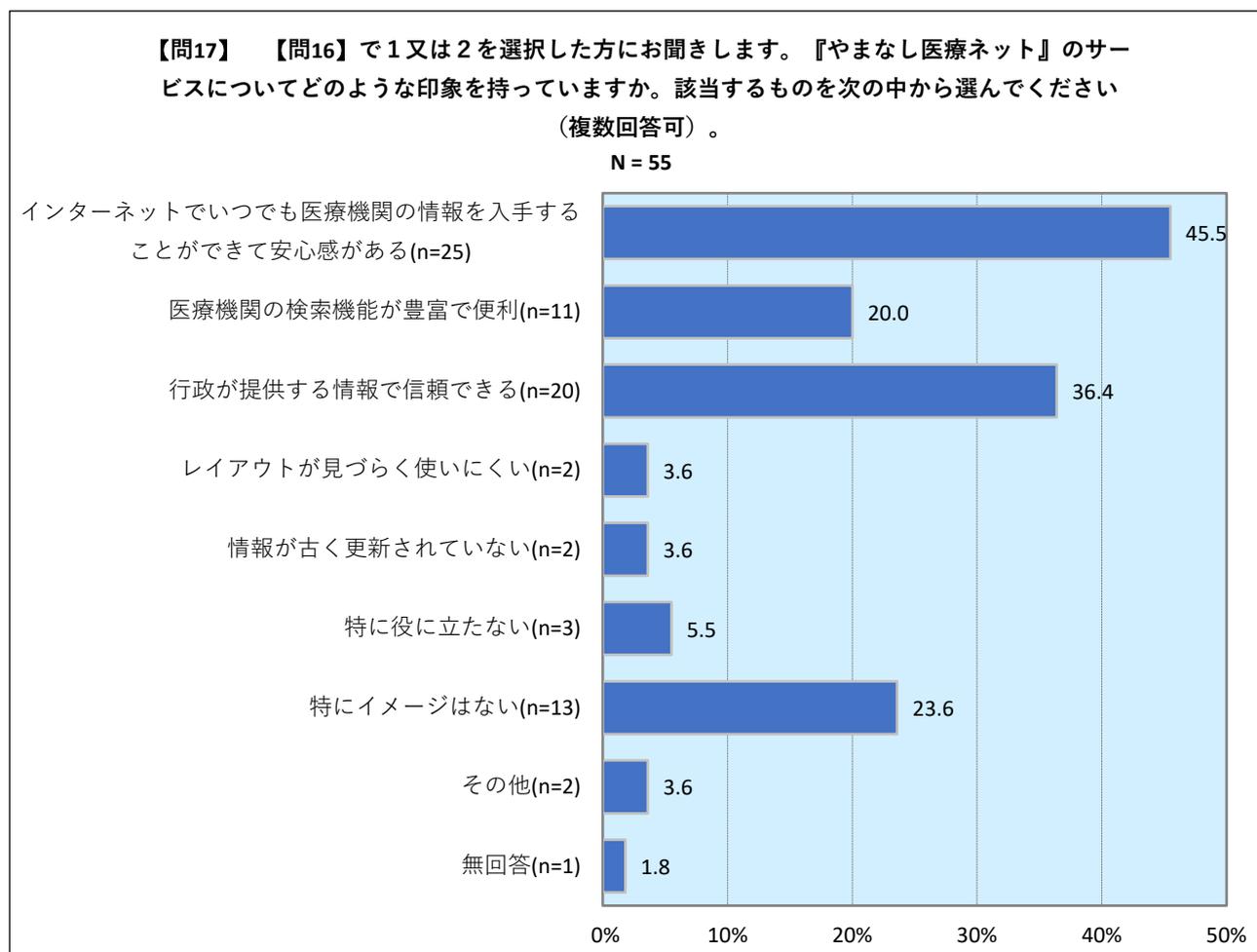
図表 38 「やまなし医療ネット」の認知度、利用有無（「かかりつけ医」の有無別）



## (10) 『やまなし医療ネット』のサービスについてどのような印象を持っているか

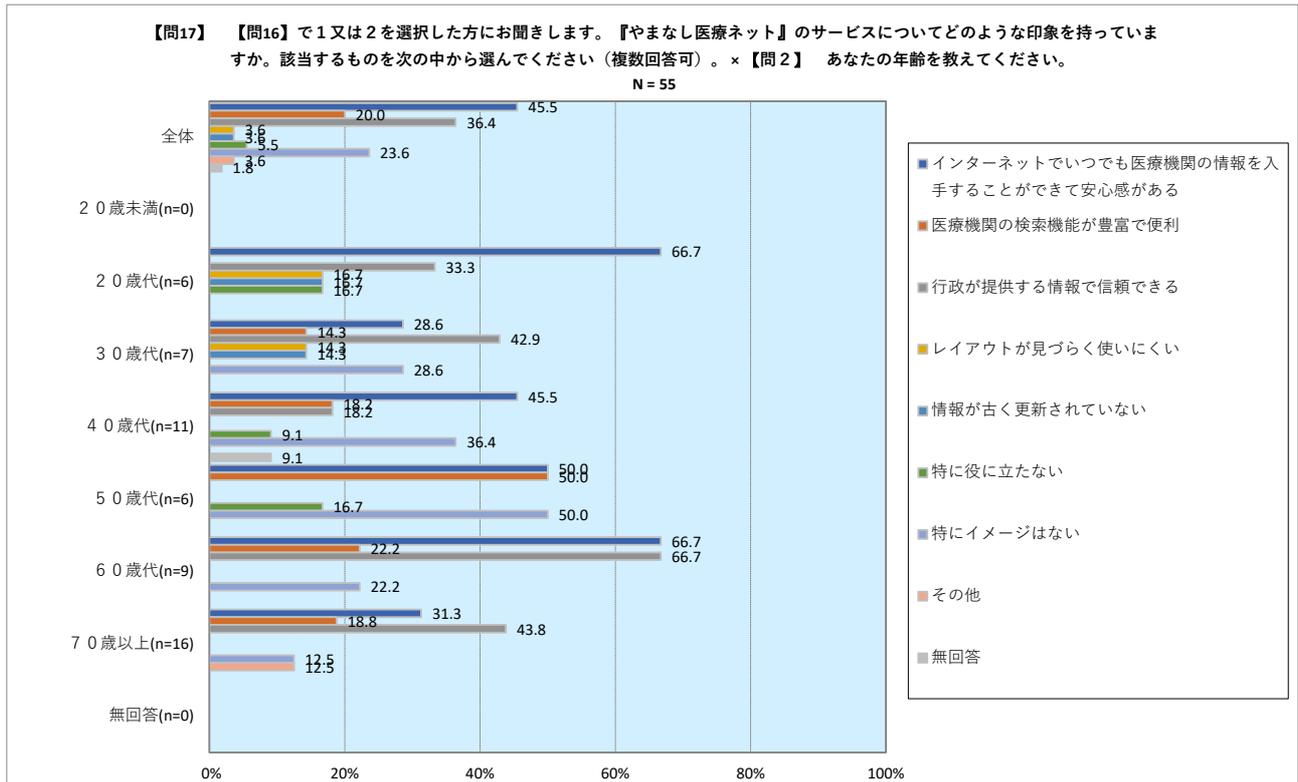
- 『やまなし医療ネット』の印象については、「インターネットでいつでも医療機関の情報を入手することができて安心感がある」が最多で45.5%（25人）、次いで、「行政が提供する情報で信頼できる」が36.4%（20人）、「特にイメージはない」が23.6%（13人）となっている。

図表 39 「やまなし医療ネット」の印象



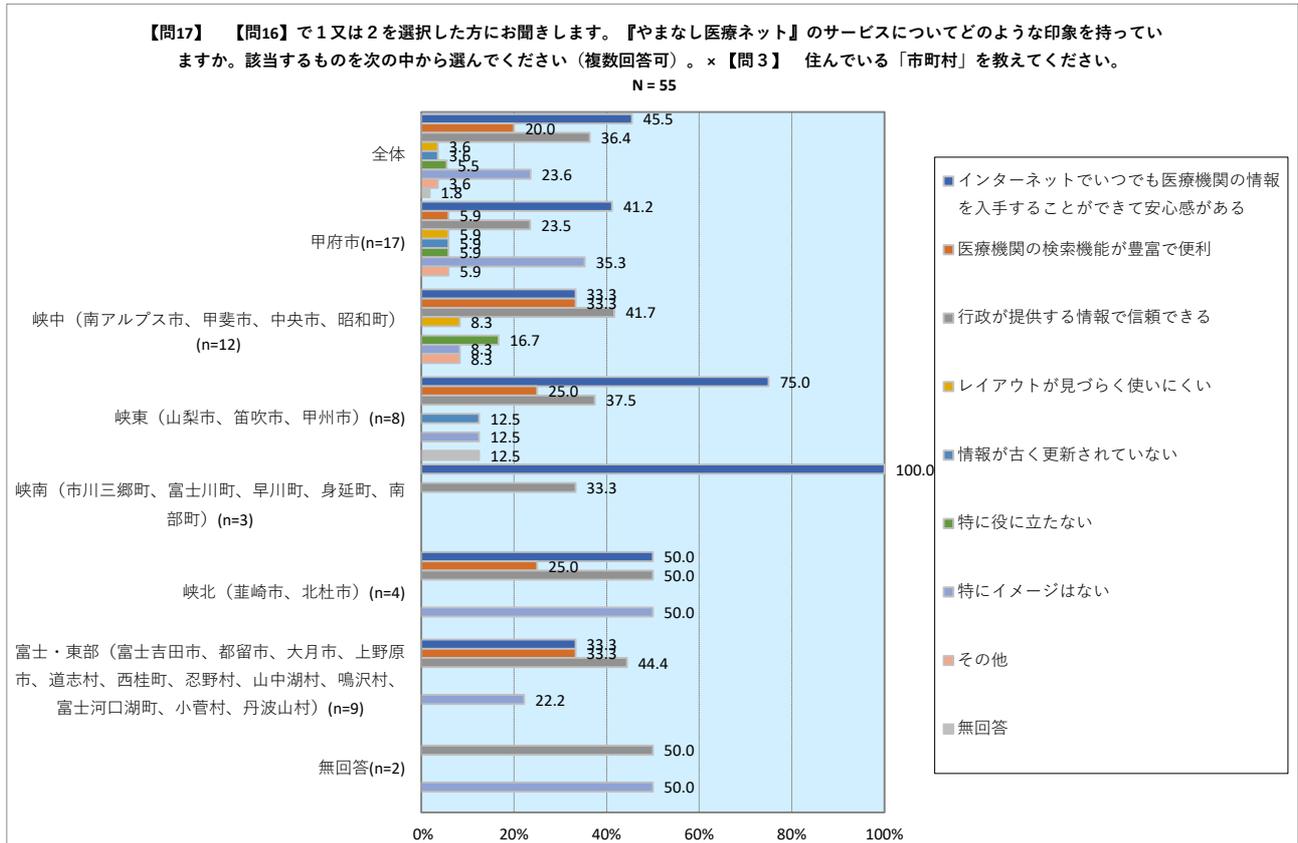
- 『やまなし医療ネット』の印象について、年齢別にみると、「インターネットでいつでも医療機関の情報を入手することができて安心感がある」と回答した割合が、「20歳代」と「60歳代」では66.7%、「50歳代」では50.0%と最多となっている。また、「行政が提供する情報で信頼できる」と回答した割合は、「30歳代」では42.9%、「60歳代」では66.7%、「70歳以上」では43.8%で最多となっている。

図表 40 「やまなし医療ネット」の印象（年齢区分別）



- 『やまなし医療ネット』の印象について、住んでいる市町村別にみると、「インターネットでいつでも医療機関の情報を入手することができて安心感がある」と回答した割合が、ほとんどの地域で高い割合となっている。一方で、「レイアウトが見づらく使いにくい」「特に役に立たない」と回答した地域は、「甲府市」と「峡中」のみであった。

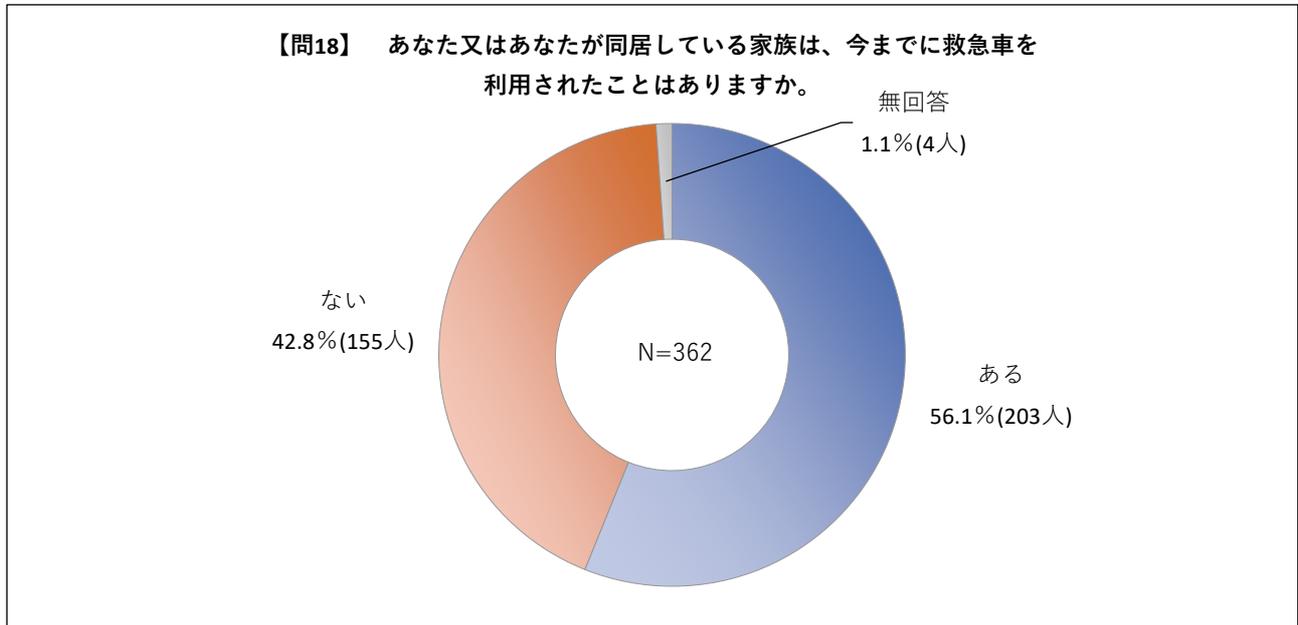
図表 41 「やまなし医療ネット」の印象（住んでいる「市町村」別）



## (11) 今までに救急車を利用したことがあるか

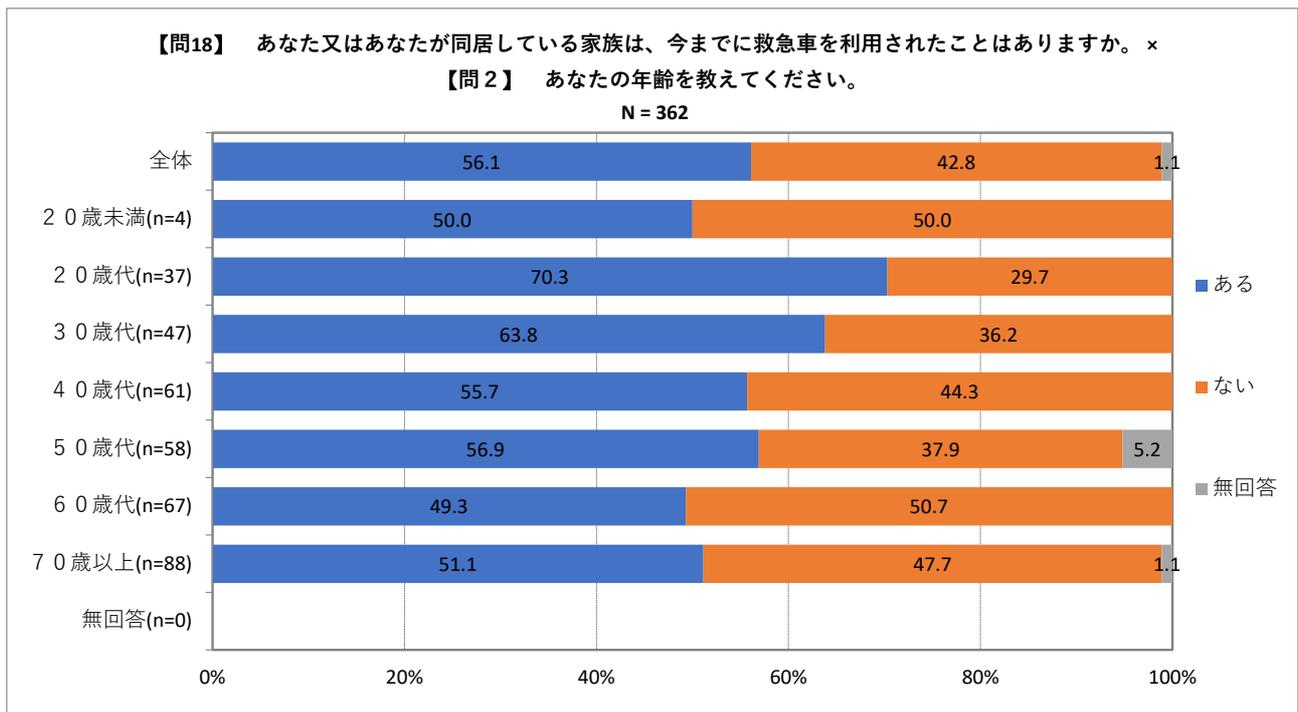
- 「あなた又はあなたが同居している家族は、今までに救急車を利用されたことはありますか。」については、「ある」が56.1% (203人)、「ない」が42.8% (155人)となっている。

図表 42 救急車の利用有無



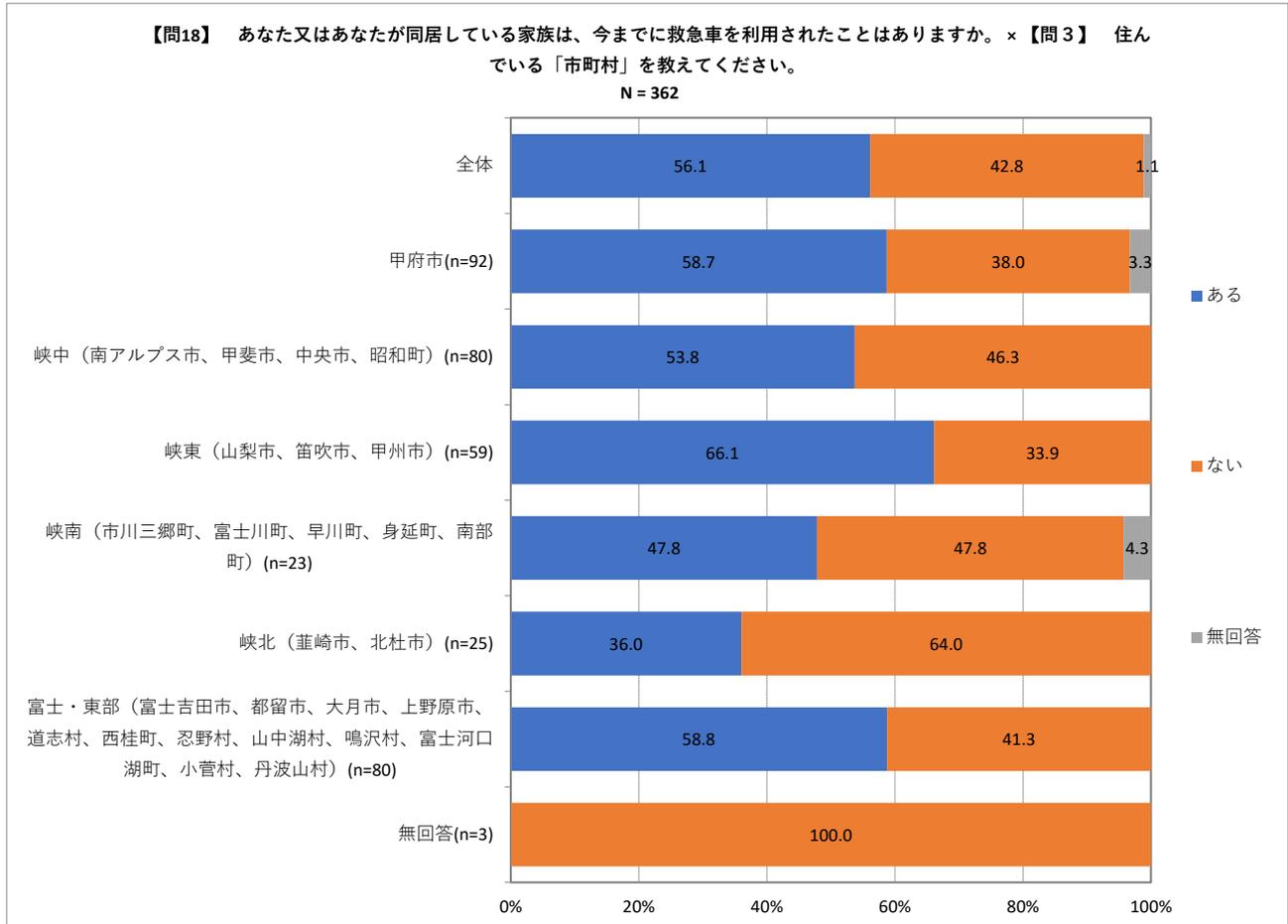
- 「あなた又はあなたが同居している家族は、今までに救急車を利用されたことはありますか。」については、年齢別にみると、「ある」と回答した割合が、「20歳代」では70.3%、「30歳代」では63.8%と他の年齢層に比べて若干高くなっている。

図表 43 救急車の利用有無（年齢区分別）



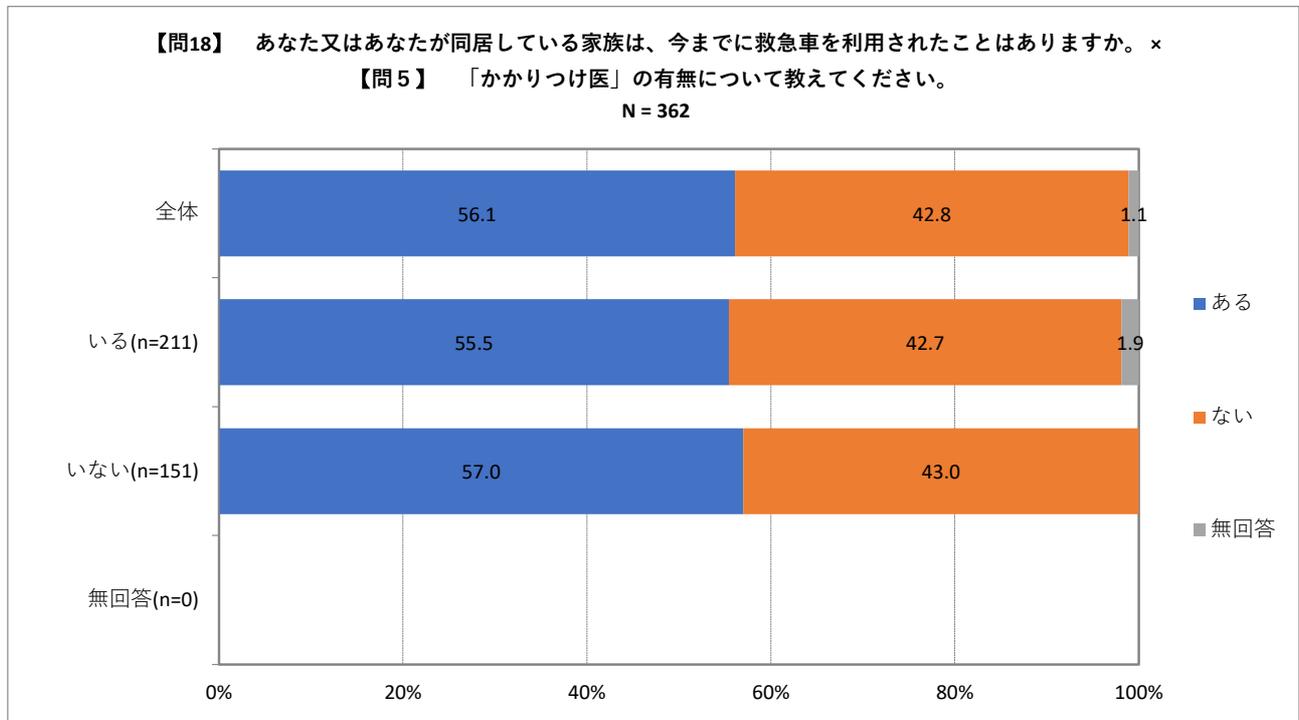
- 「あなた又はあなたが同居している家族は、今までに救急車を利用されたことはありますか。」については、住んでいる市町村別にみると、「ある」と回答した割合が、「峡東」では66.1%と他地域に比べて若干高くなっている。一方で、「峡北」では、36.0%と他地域に比べて低くなっており、地域によって差があることがわかる。

図表 44 救急車の利用有無（住んでいる「市町村」別）



- 「あなた又はあなたが同居している家族は、今までに救急車を利用されたことはありますか。」については、かかりつけ医の有無別にみると、どちらも「ある」と回答した割合が約60%程度と、差がないことがわかる。

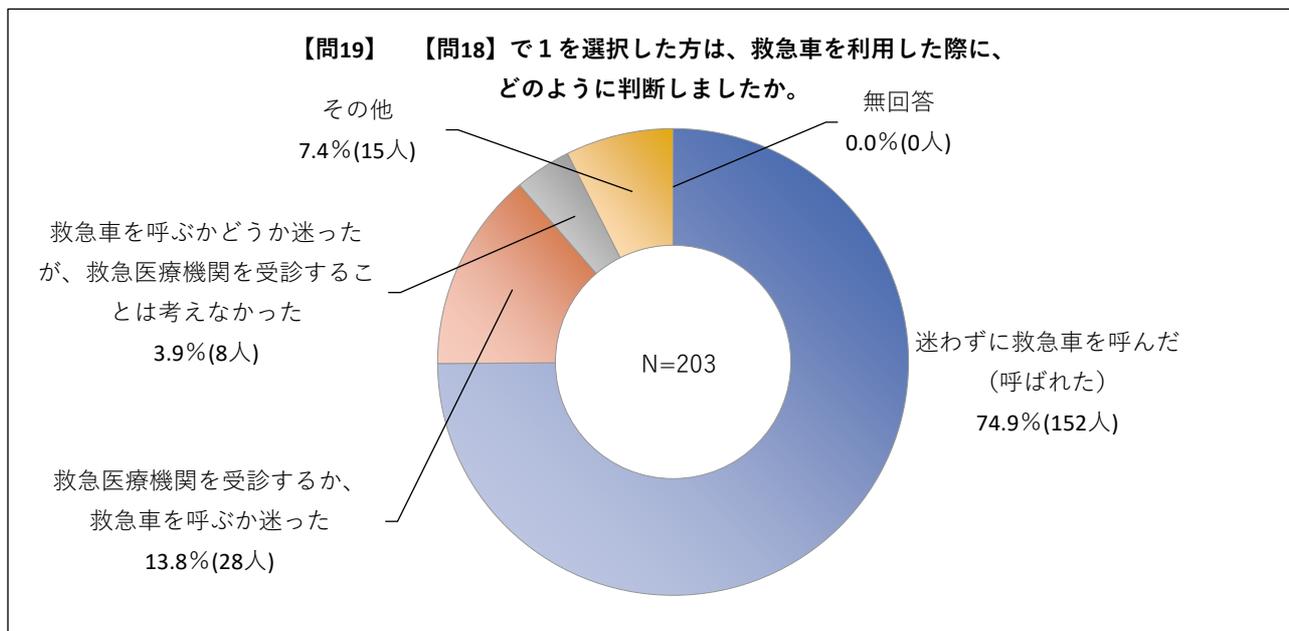
図表 45 救急車の利用有無（「かかりつけ医」の有無別）



## (12) 救急車を利用した際の判断方法

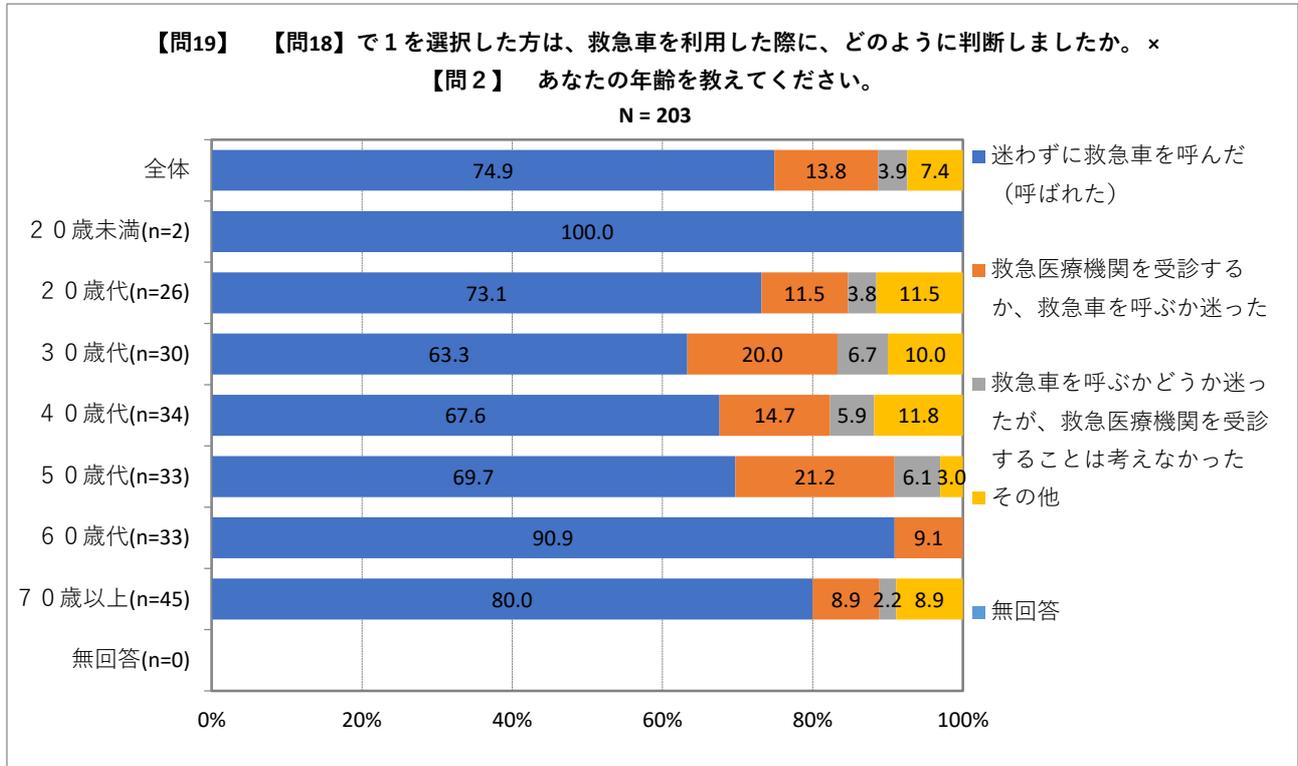
- 救急車を利用した際の判断方法については、「迷わずに救急車を呼んだ（呼ばれた）」が最多で74.9%（152人）、次いで、「救急医療機関を受診するか、救急車を呼ぶか迷った」が13.8%（28人）、「その他」が7.4%（15人）となっている。

図表 46 救急車の利用判断



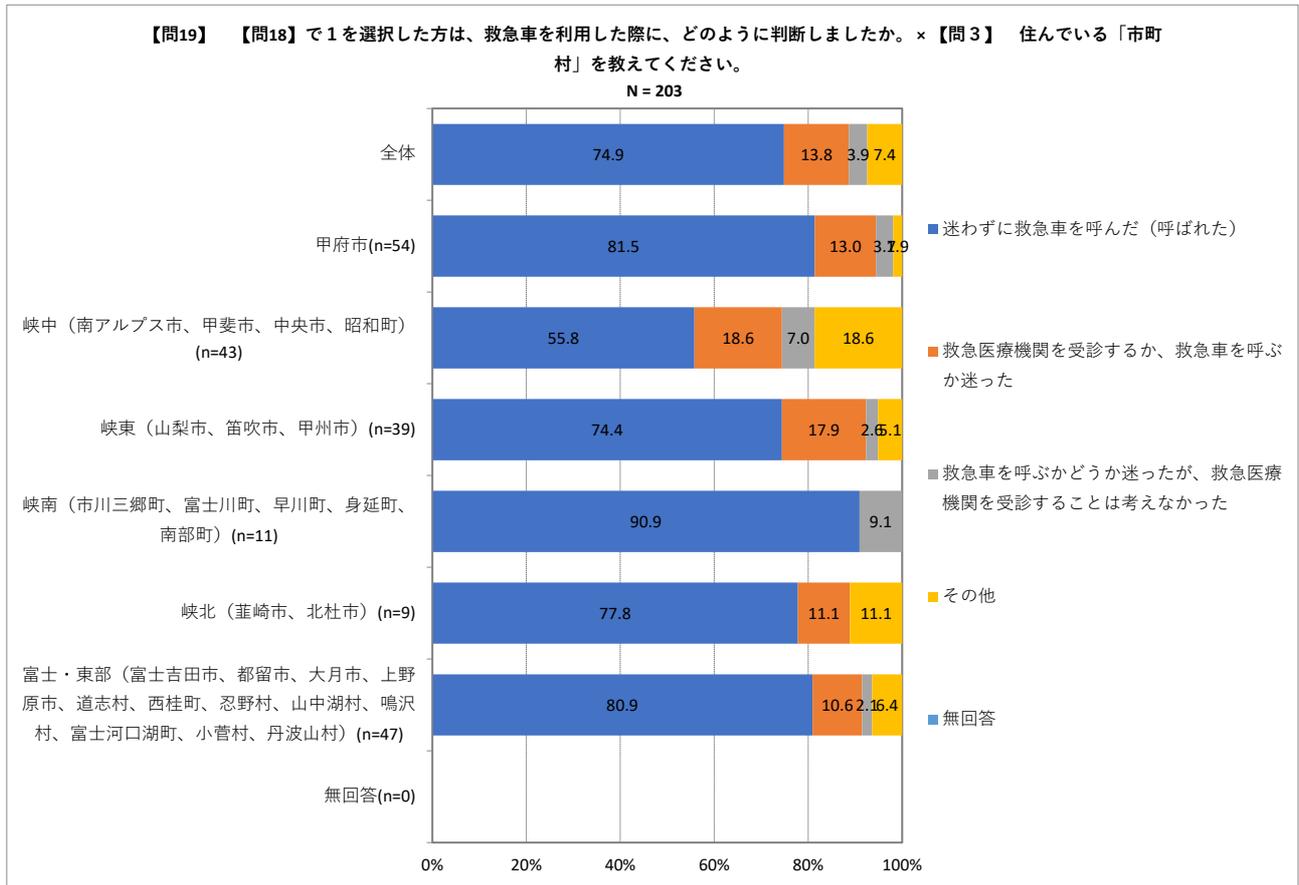
- 救急車を利用した際の判断方法について、年齢別にみると、どの年齢層においても「迷わずに救急車を呼んだ（呼ばれた）」が最多となっており、「20歳代」では100%、「60歳代」では90.9%と他の年齢層に比べて高くなっている。

図表 47 救急車の利用判断（年齢区分別）



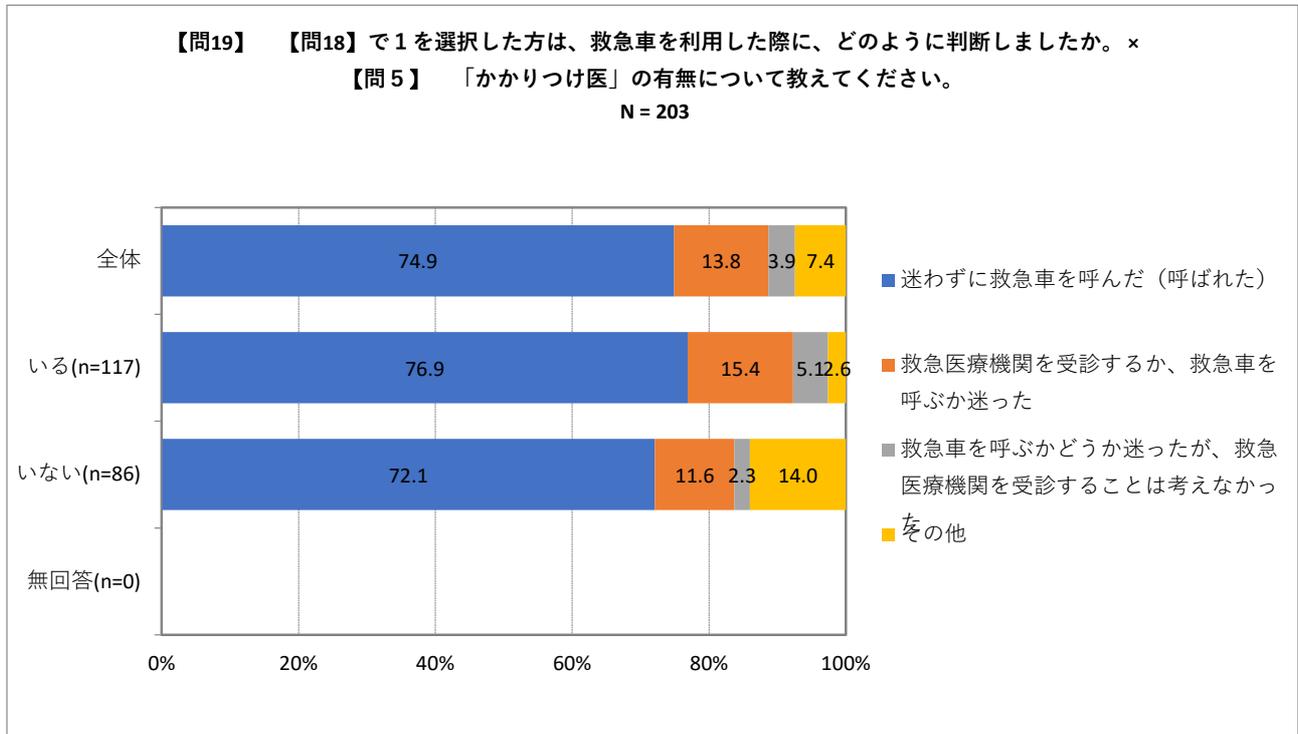
- 救急車を利用した際の判断方法について、住んでいる市町村別にみると、どの地域においても「迷わずに救急車を呼んだ（呼ばれた）」が最多となっており、「甲府市」では81.5%、「峡南」では90.9%と他地域に比べて高くなっている。また、「峡中」では55.8%と地域に比べて低くなっており、地域によって差がみられる。

図表 48 救急車の利用判断（住んでいる「市町村」別）



- 救急車を利用した際の判断方法について、かかりつけ医の有無別にみると、どちらも「迷わずに救急車を呼んだ（呼ばれた）」と回答した割合が約75%程度と、大きく差がないことがわかる。

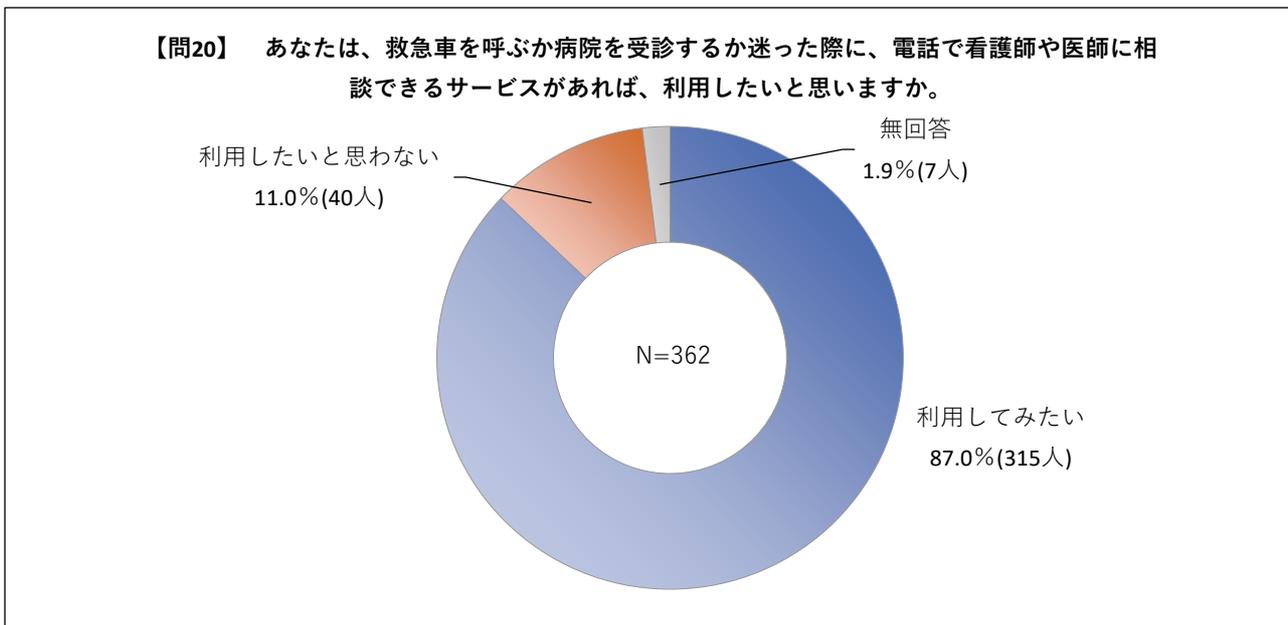
**図表 49 救急車の利用判断（「かかりつけ医」の有無別）**



**(13) 救急車を呼ぶか病院を受診するか迷った際に、電話で看護師や医師に相談できるサービスがあれば利用したいと思うか**

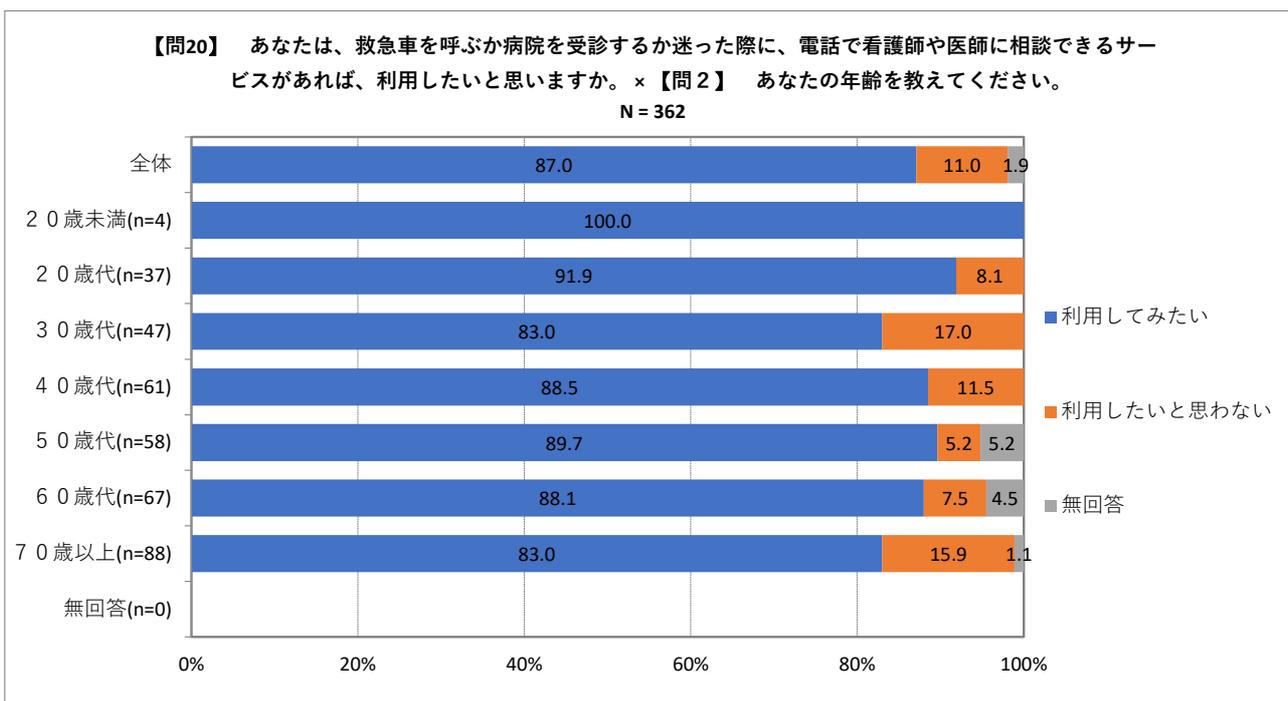
- 「救急車を呼ぶか病院を受診するか迷った際に、電話で看護師や医師に相談できるサービスがあれば、利用したいと思いますか。」については、「利用してみたい」が87.0%（315人）、「利用したいと思わない」が11.0%（40人）となっている。

**図表 50 相談サービスの利用希望**



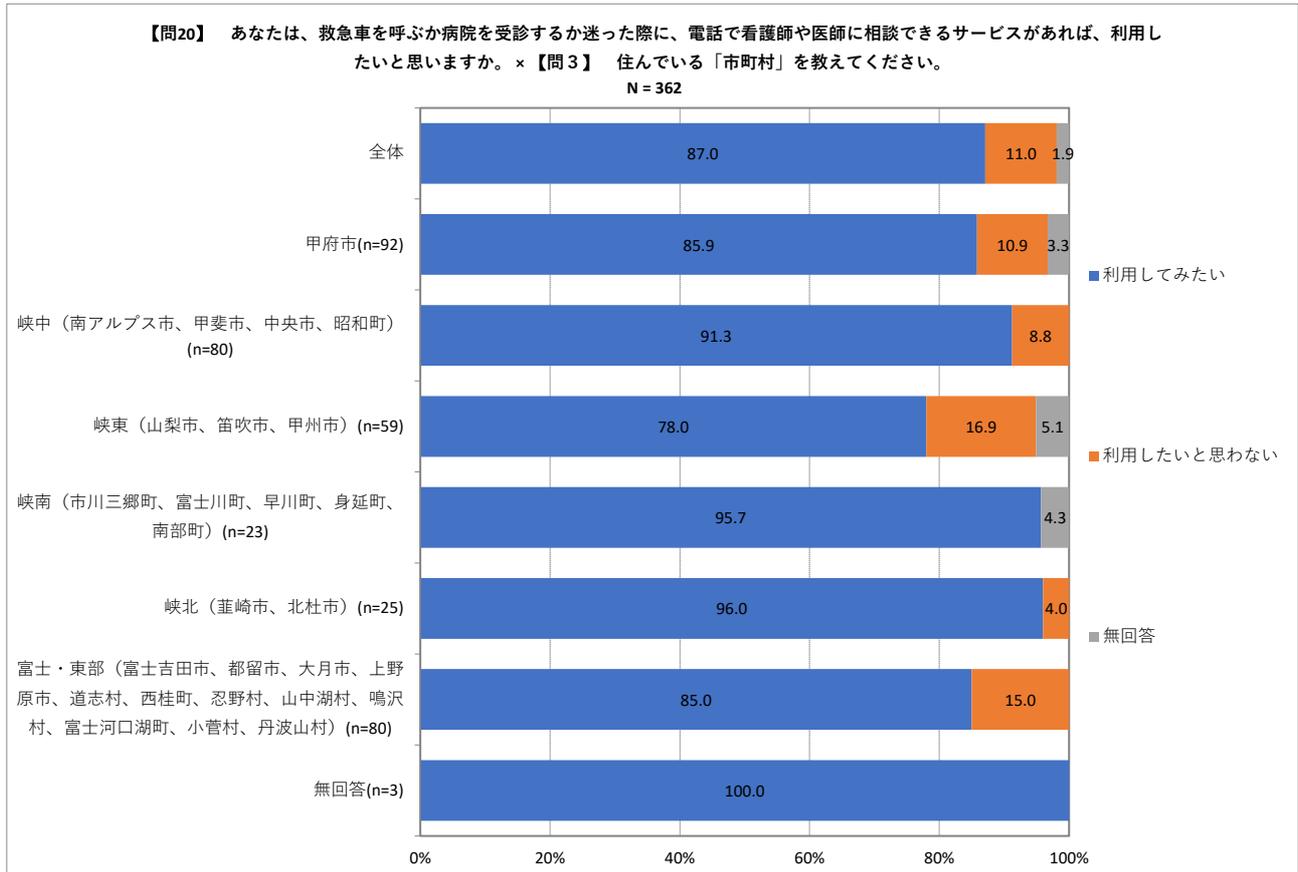
- 「救急車を呼ぶか病院を受診するか迷った際に、電話で看護師や医師に相談できるサービスがあれば、利用したいと思いますか。」について、年齢別にみると、どの年齢層においても「利用してみたい」と回答している割合が80%を超えており、年齢層による差異はなかった。

**図表 51 相談サービスの利用希望（年齢区分別）**



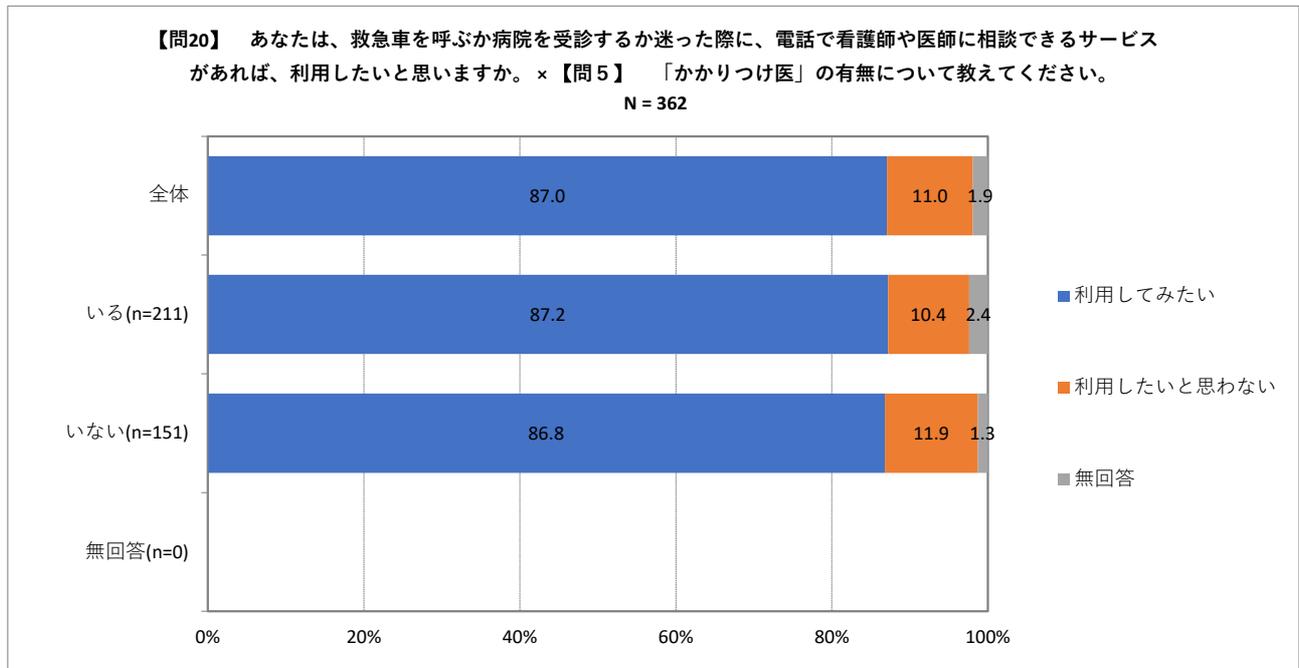
- 「救急車を呼ぶか病院を受診するか迷った際に、電話で看護師や医師に相談できるサービスがあれば、利用したいと思いますか。」について、住んでいる市町村別にみると、どの地域においても「利用してみたい」と回答した割合が多く、80%を超えており、住んでいる市町村による差異はなかった。

図表 52 相談サービスの利用希望（住んでいる「市町村」別）



- 「救急車を呼ぶか病院を受診するか迷った際に、電話で看護師や医師に相談できるサービスがあれば、利用したいと思いますか。」について、かかりつけ医の有無別にみると、どちらも「利用してみたい」と回答した割合は約 90% となっており、かかりつけ医の有無による差異はなかった。

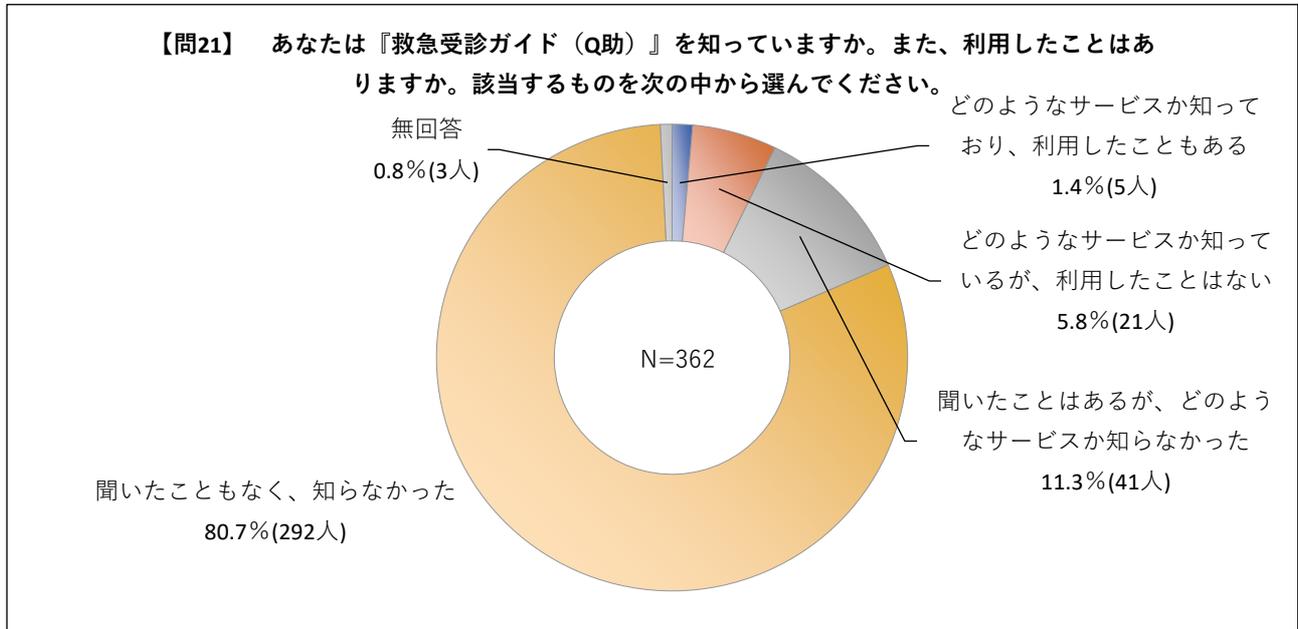
**図表 53 相談サービスの利用希望（「かかりつけ医」の有無別）**



## (14) 『救急受診ガイド (Q助)』を知っているか

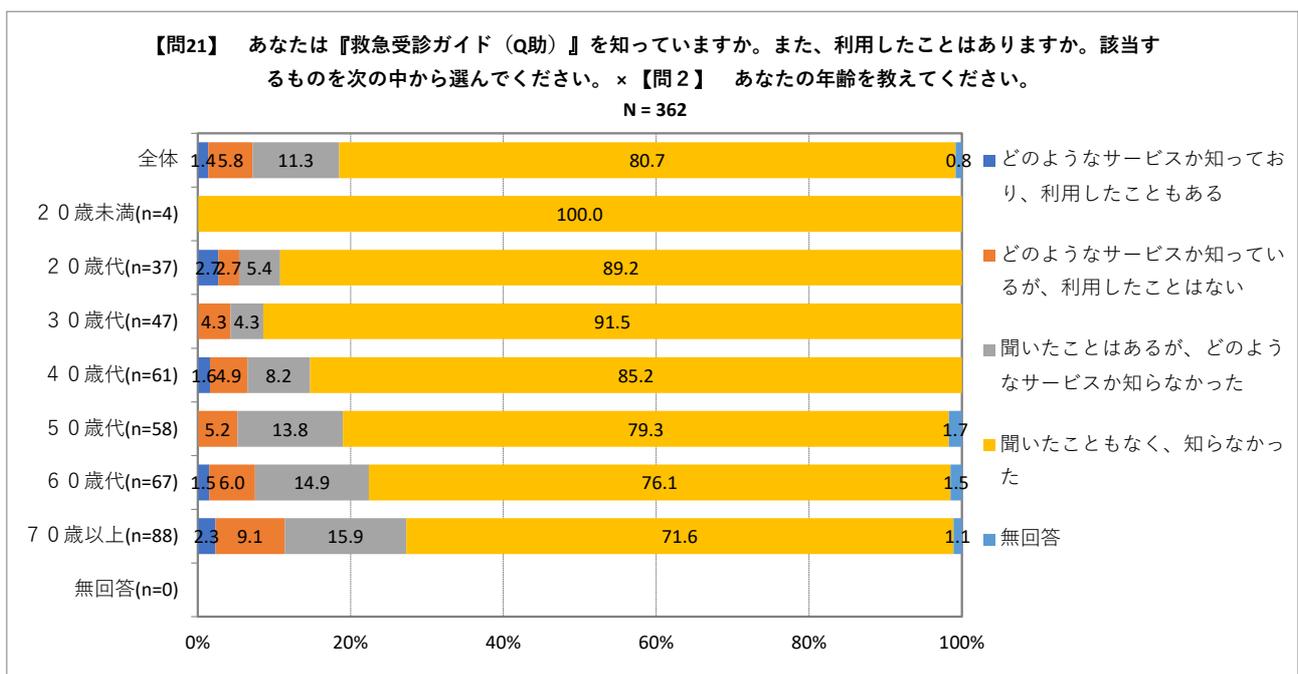
- 「『救急受診ガイド (Q助)』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」については、「聞いたこともなく、知らなかった」が最多で80.7% (292人)、次いで、「聞いたことはあるが、どのようなサービスか知らなかった」が11.3% (41人)、「どのようなサービスか知っているが、利用したことはない」が5.8% (21人)となっている。

図表 54 「救急受診ガイド (Q助)」の認知度、利用有無



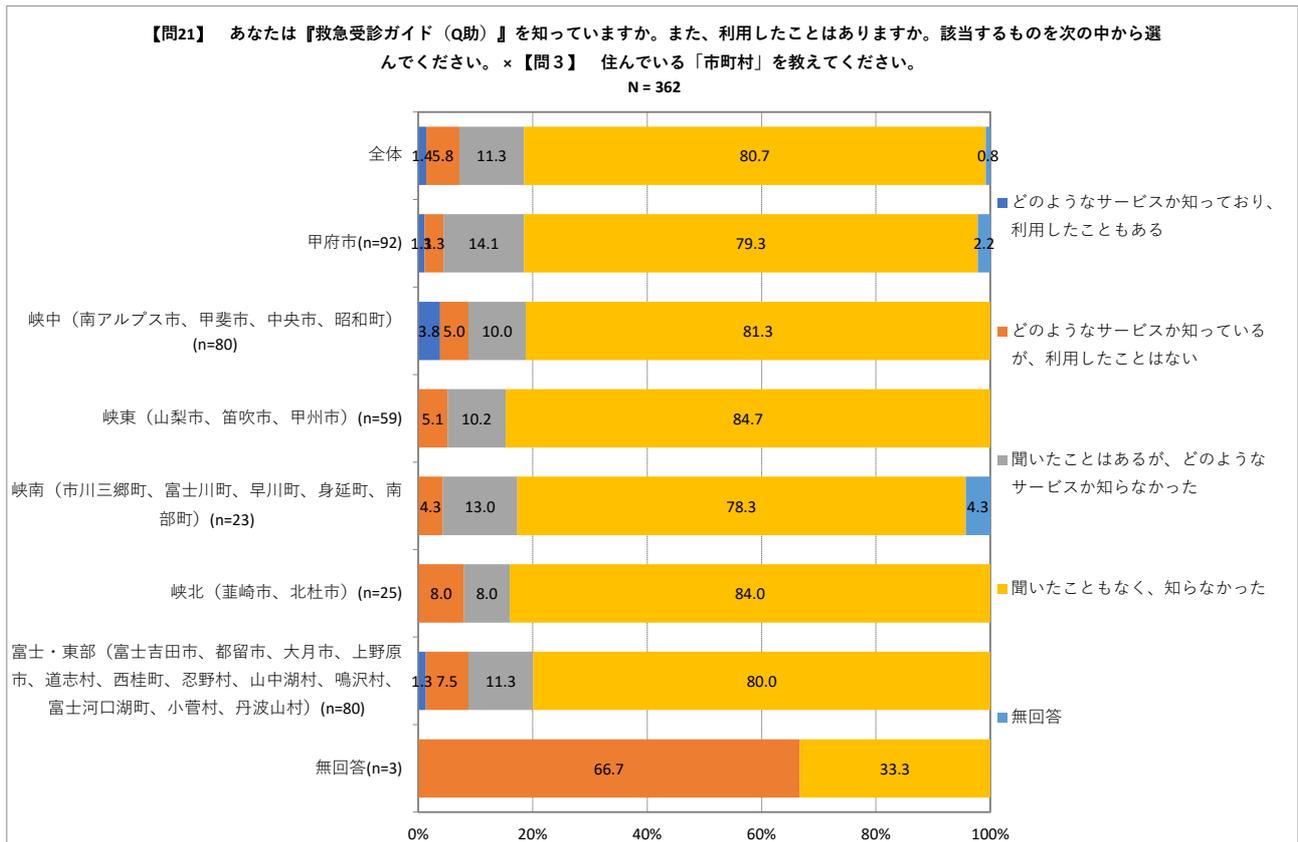
- 「『救急受診ガイド (Q助)』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」について、年齢別にみると、どの年齢層においても「聞いたこともなく、知らなかった」と回答している割合が70%を超えている。また、回答した割合は、年齢が高くなるにつれて少なくなっており、認知度が高くなっていることがわかる。

図表 55 「救急受診ガイド (Q助)」の認知度、利用有無 (年齢区分別)



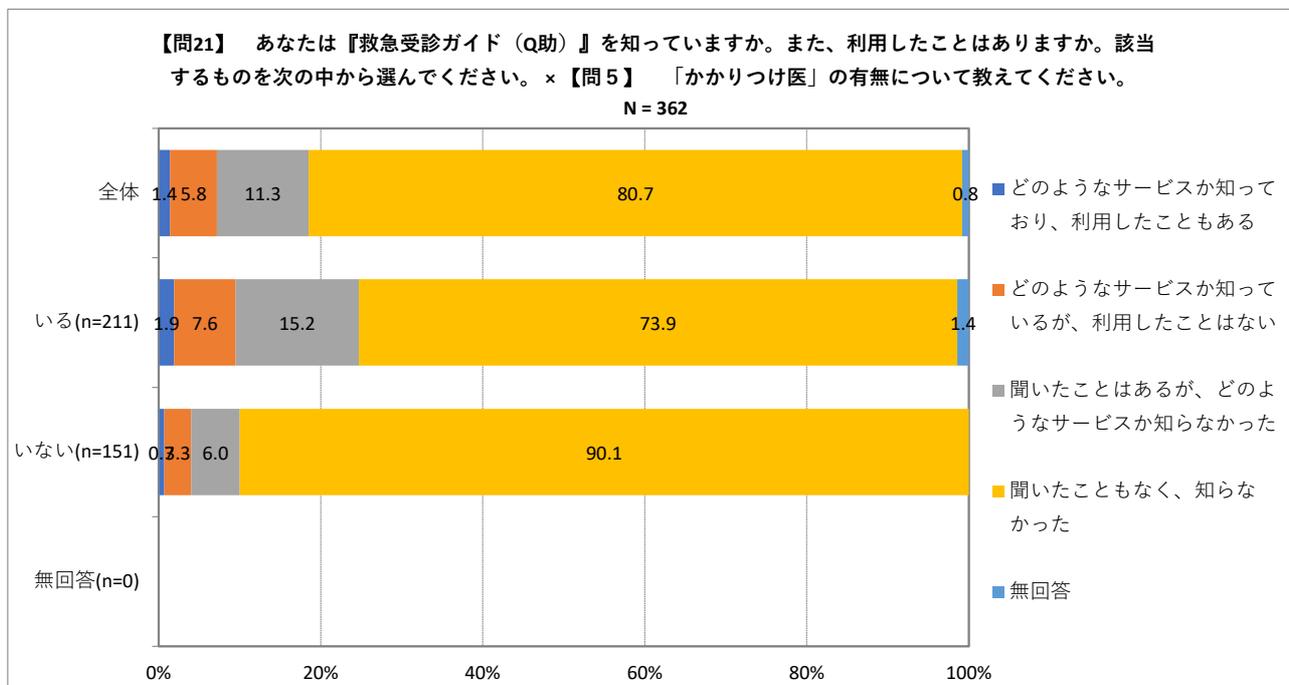
○ 「『救急受診ガイド（Q助）』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」について、住んでいる市町村別にみると、どの地域においても「聞いたこともなく、知らなかった」と回答している割合が80%を超えている。また、「どのようなサービスか知っており、利用したこともある」と回答した割合は、「峡中」が最多で3.8%となっているが、どの地域においても利用実績は少なくなっている。

図表 56 「救急受診ガイド（Q助）」の認知度、利用有無（住んでいる「市町村」別）



- 「『救急受診ガイド（Q助）』を知っていますか。また、利用したことはありますか。」について、かかりつけ医の有無別にみると、かかりつけ医がない場合、「聞いたこともなく、知らなかった」と回答した割合が90.1%、いる場合は73.9%と認知度の差異がみられた。

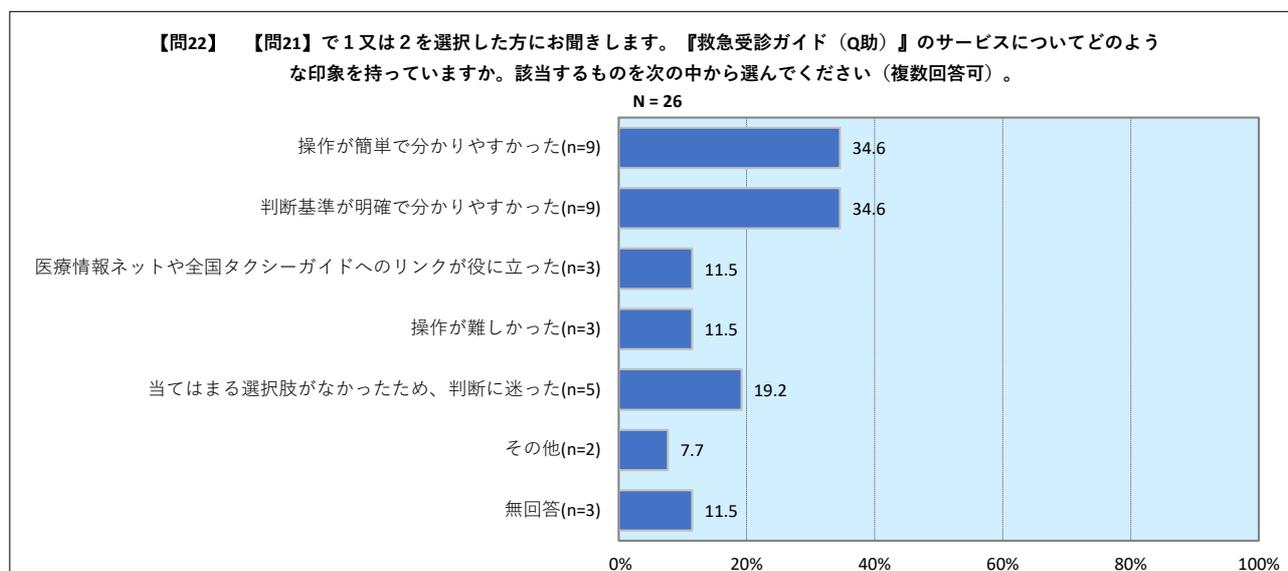
図表 57 「救急受診ガイド（Q助）」の認知度、利用有無（「かかりつけ医」の有無別）



## (15) 『救急受診ガイド (Q助)』のサービスについてどのような印象を持っているか

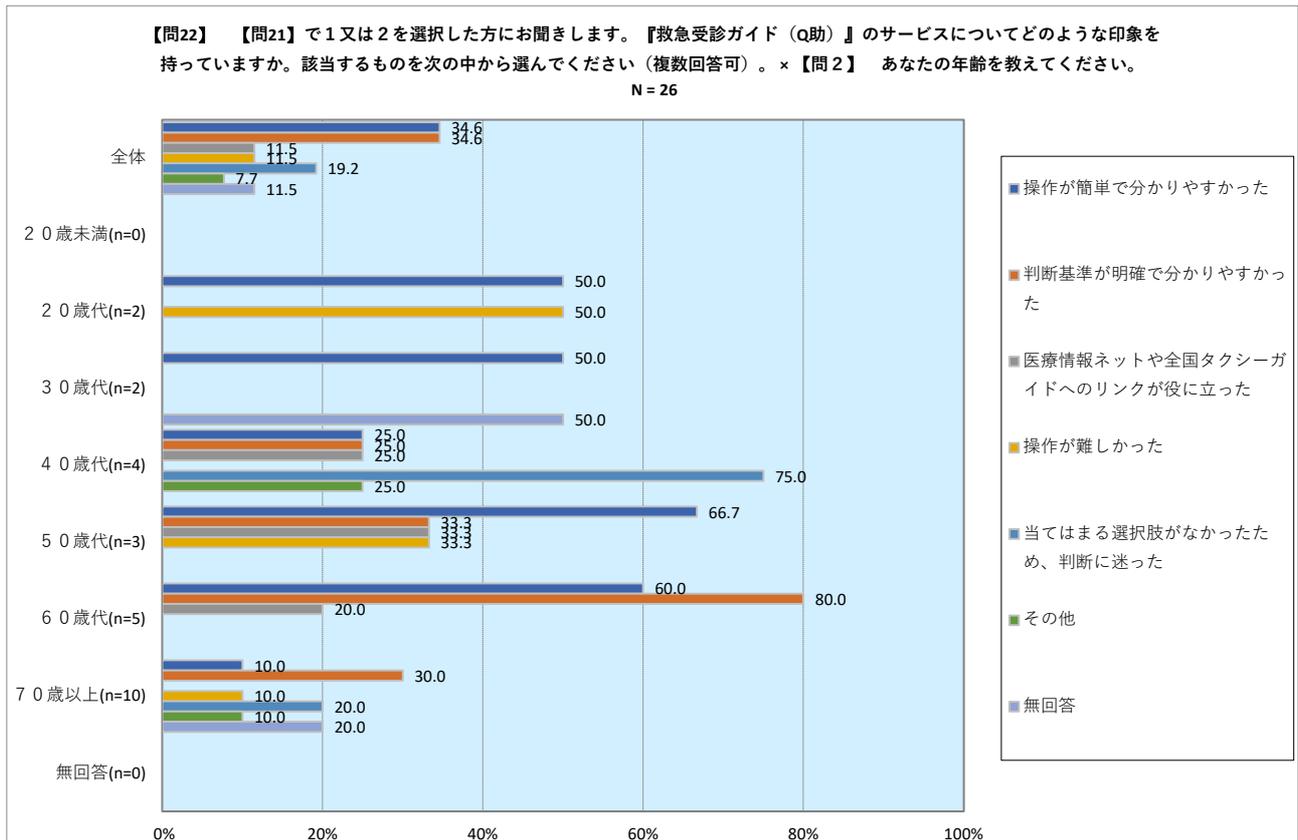
- 『救急受診ガイド (Q助)』の印象については、「操作が簡単で分かりやすかった」と「判断基準が明確で分かりやすかった」がともに最多で34.6% (9人)、次いで、「当てはまる選択肢がなかったため、判断に迷った」が19.2% (5人)、「医療情報ネットや全国タクシーガイドへのリンクが役に立った」と「操作が難しかった」がともに11.5% (3人) となっている。

図表 58 「救急受診ガイド (Q助)」の印象



- 『救急受診ガイド（Q助）』の印象について、年齢別にみると、「操作が簡単で分かりやすかった」と回答した割合は、「20歳代」では50.0%、「30歳代」では100%、「50歳代」では66.7%と高くなっている。また、「判断基準が明確で分かりやすかった」と回答した割合は、「60歳代」では80.0%、「50歳以上」では33.3%と高くなっている。また、「20歳代」「50歳代」「70歳以上」では、「操作が難しかった」という回答もみられた。

図表 59 「救急受診ガイド（Q助）」の印象（年齢区分別）



- 『救急受診ガイド (Q 助)』の印象について、住んでいる市町村別にみると、「操作が簡単で分かりやすかった」と回答した割合は、「甲府市」で 50.0%と高くなっている。  
また、「判断基準が明確で分かりやすかった」と回答した割合は「峡中」では 57.1%、「峡北」では 50.0%となっている。

図表 60 「救急受診ガイド (Q 助)」の印象 (住んでいる「市町村」別)

